

アフターサービス推進室活動報告書. Vol. 17

保育士・保育所支援センターの取組事例に関する調査

— 保育士人材の確保を目指して —

平成 27 年 2 月

厚生労働省アフターサービス推進室

目次

I 調査結果報告	1
1 調査目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査結果概要.....	3
(1) 待機児童の推移と保育所数、利用率の推移.....	3
(2) 保育士の現況と求人・求職の状況.....	4
(3) 調査自治体における保育所及び保育士の状況.....	6
(4) 保育士・保育所支援センターの設置・運営.....	8
(5) 調査対象の個別報告書まとめ.....	9
(6) 「保育士・保育所支援センター」事業における（再）就職者、研修等参加者のご意見.....	21
4 本調査に関するアフターサービス推進室の提案.....	24
5 最後に.....	27
II 個別報告書	27
1 ちば保育士・保育所支援センター.....	28
2 東京都保育人材・保育所支援センター.....	32
3 富山県保育士・保育所支援センター.....	36
4 滋賀県保育士・保育所支援センター.....	40
5 広島県保育士人材バンク.....	44
6 香川県保育士人材バンク.....	48
7 福岡県保育士・保育所支援センター.....	52
8 大阪市保育士・保育所支援センター（梅田センター・阿倍野センター）.....	56
9 堺市保育部保育運営課無料職業紹介所.....	60
10 福岡市保育士・保育所支援センター.....	64
11 久留米市保育士・保育所支援センター.....	68
III アフターサービス推進室 過去の活動報告	71

I 調査結果報告

厚生労働省の制度・事業の改善に資するよう「国民の皆様の声」、現場視察、制度・事業に関する情報収集を基に以下の件について調査・分析し、とりまとめましたので、以下に報告します。

案 件 名	調 査 概 要
保育士・保育所支援センターの 取組事例に関わる調査 － 保育士人材の確保を目指して －	本調査は、保育を希望するすべての国民が利用できる環境になることを目的として、待機児童解消に伴い必要となる保育士確保の取組を行う「保育士・保育所支援センター事業」の活動内容を調査したものである。

1 調査目的

厚生労働省の「国民の皆様の声」には「認可保育所を増やしてほしい」「早期に保育所を増やし、待機児童をゼロにしてほしい」という待機児童解消への要望、「保育士がやりがいを感じながら働けるように給与等処遇の改善を希望する」という保育士の就業環境への改善など様々なご指摘が寄せられている。

国は、「待機児童解消加速化プラン」により保育の量の拡大を図る中、このために必要となる保育を支える人材を確保するため、「人材育成」「就業継続支援」「再就職支援」「働く職場の環境改善」に重点をおいた取組を進めているが、この「待機児童解消加速化プラン」の確実な実施に向け、平成 27 年 1 月に「保育士確保プラン」を策定し、保育士確保のための新たな取組を進めることとしている。

本調査は、保育士確保の取組の一つである「再就職支援」を牽引する「保育士・保育所支援センター」の保育士就労支援に関する取組を調査し、保育人材確保を推進している地方自治体の取組を紹介し、国民の皆様及び関係者に今後の参考としていただくことを目的としている。

2 調査対象

調査対象とした「保育士・保育所支援センター」は以下 11 センター¹とした。

¹ 本報告書では「保育士・保育所支援センター事業」を運営している組織の総称として「センター」に統一して使用する。

調査対象「保育士・保育所支援センター」一覧表

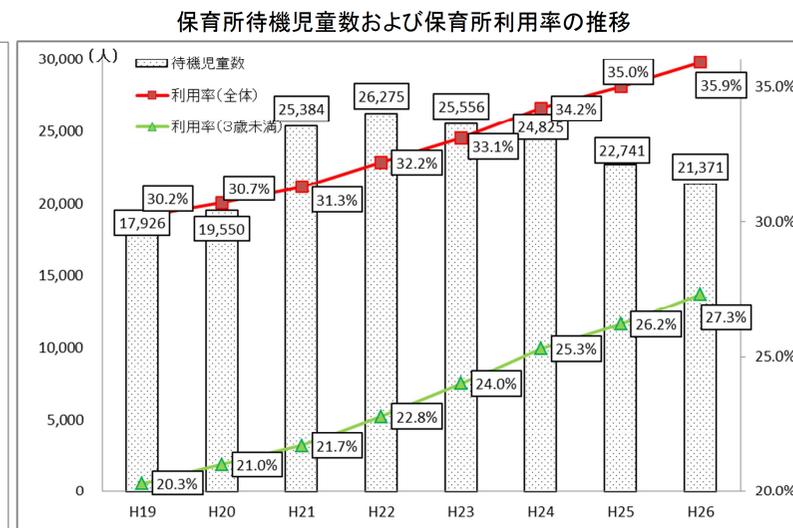
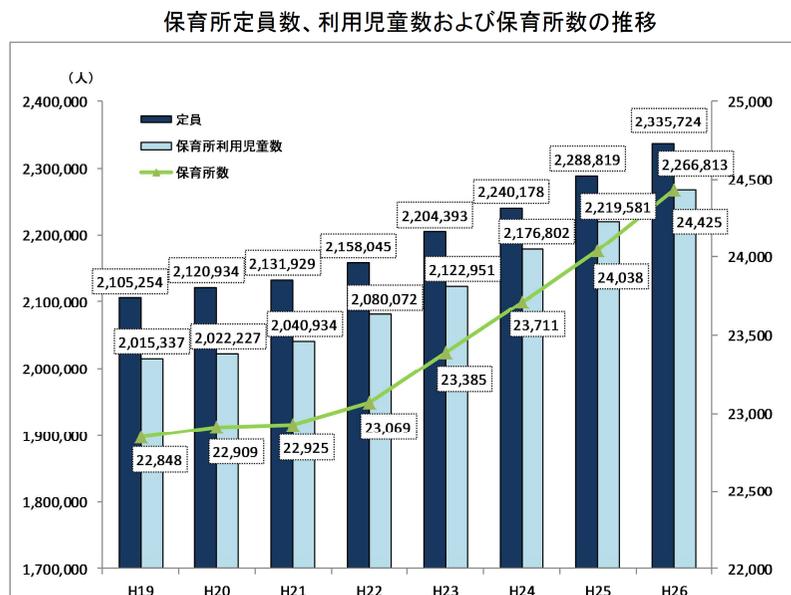
	名 称 () 内は運営団体 (委託先)	所 在 地	開設年月日	ヒアリング実施日
1	ちば保育士・保育所支援センター (社会福祉法人千葉県社会福祉協議会)	〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル6階 ☎ 043-222-2668	平成25年8月6日	平成26年9月5日
2	東京都保育人材・保育所支援センター (社会福祉法人東京都社会福祉協議会)	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター7階 ☎ 03-5211-2860	平成21年9月15日	平成26年9月8日
3	富山県保育士・保育所支援センター (社会福祉法人富山県社会福祉協議会)	〒930-00945 富山県富山市安住町5-21 富山総合福祉会館 ☎ 076-432-6532	平成25年6月3日	平成26年9月16日
4	滋賀県保育士・保育所支援センター (一般社団法人滋賀県保育協議会)	〒520-0044 滋賀県大津市京町4-3-28 厚生会館1階 ☎ 077-525-5203	平成25年4月1日	平成26年9月29日
5	広島県保育士人材バンク (広島県健康福祉局働く女性応援プロジェクト・チーム)	〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52 広島県健康福祉局働く女性応援プロジェクト・チーム ☎ 082-227-3090	平成24年7月19日	平成26年10月15日
6	香川県保育士人材バンク (社会福祉法人香川県社会福祉協議会)	〒760-0017 香川県高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター4階 ☎ 087-833-0250	平成25年8月1日	平成26年10月3日
7	福岡県保育士就職支援センター (公益社団法人福岡県保育協会)	〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 福岡県総合福祉センター内 ☎ 092-582-7955	平成25年7月1日	平成26年10月21日
8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター) (株式会社ニッソーネット)	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル2階(梅田センター) ☎ 0120-977-555	平成25年10月30日	平成26年10月8日

9	堺市保育部保育運営課無料職業紹介所 (堺市子ども青少年局保育部保育運営課)	〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3-1 堺市子ども青少年局保育部保育運営課内 ☎ 072-228-0194	平成25年10月1日	平成26年10月7日
10	福岡市保育士・保育所支援センター (福岡市子ども未来局子育て支援部保育所指導課)	〒810-8620 福岡県福岡市中央区天神1-8-1 福岡市子ども未来局子育て支援部保育所指導課内 ☎ 092-711-6808	平成25年4月1日	平成26年10月20日
11	久留米市保育士・保育所支援センター (久留米市子ども未来部児童保育課)	〒830-8520 福岡県久留米市城南町15-3 久留米市子ども未来部児童保育課内 ☎ 0942-30-7234	平成25年4月1日	平成26年10月21日

3 調査結果概要

(1) 待機児童の推移と保育所数、利用率の推移

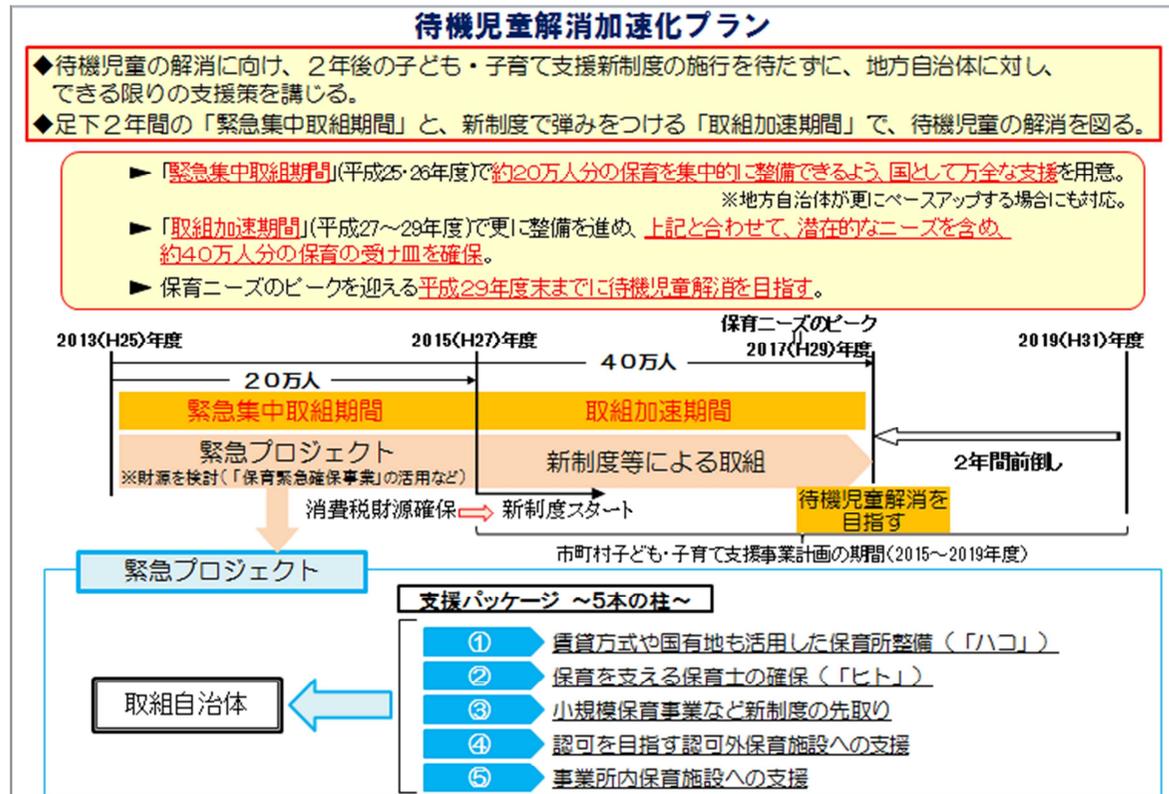
保育所²入所待機児童とは「入所申込が提出されており、入所要件に該当しているが、入所していない」状態にある児童を指す。保育所数は大幅な増設が進められ、利用児童数も増加している。



保育所利用率：当該年齢の保育所利用児童数÷当該年齢の就学前児童数
 出典：厚生労働省雇用均等・児童家庭局発表資料「保育所関連状況取りまとめ(平成26年4月1日)」
 平成26年9月12日

² 日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育する施設。

「待機児童解消加速化プラン」において、平成 25 年度～平成 29 年度にかけて約 40 万人分の保育の受け皿を確保し、平成 29 年度末の待機児童解消を目指している。保育士人材の確保に向けて、「待機児童解消加速化プラン」では支援パッケージの中に「保育を支える保育士の確保（ヒト）」を掲げ、保育士の就労・育成の取組を進めている。この「待機児童解消加速化プラン」を確実に実施するため、平成 27 年 1 月に「保育士確保プラン」を策定し、保育士確保のための新たな取組を進めることとしている（平成 29 年度末までに国全体として新たに確保が必要となる保育士数は 6.9 万人）。具体的には、保育士試験の年 2 回実施の推進や保育士に対する処遇改善の実施、「保育士・保育所支援センター」における離職保育士に対する再就職支援の強化などの新たな施策を講じるほか、従来の保育士資格取得支援などの確保施策についても引き続き実施し、保育士の確保に向けて全力で取り組んでいくこととしている。



出典：厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

(2) 保育士の現況と求人・求職の状況

保育士不足の理由の一つには保育士資格を有していながら就業していないいわゆる「潜在保育士」がいる³ことが挙げられる。

³ 保育士資格保有求職者（32,478人）のうち保育士として就業することを希望する者（16,737人）が約半数（51.5%）というデータがある。（厚生労働省職業安定局「主な人手不足職種に関するハローワーク求職者の免許・資格の保有状況」労働市場分析レポート第3号（平成25年3月29日）

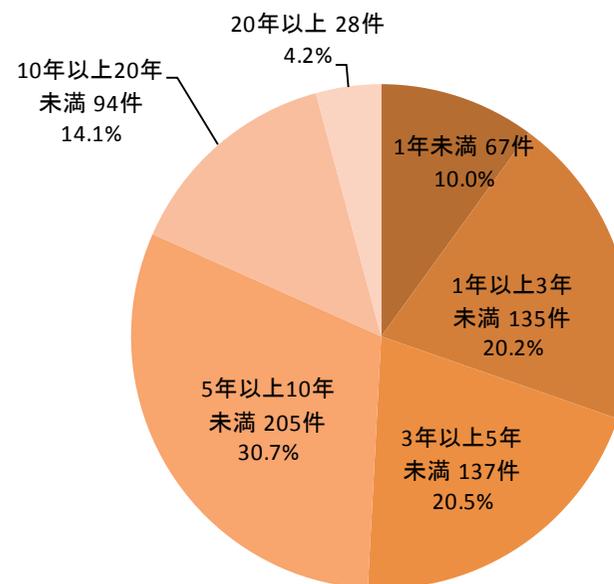
保育士への就業を希望しない理由として、「賃金が希望と合わない⁴」「休暇が少ない・取りにくい」「就業時間が希望と合わない」という勤務条件、「責任の重さ・事故への不安」「自身の健康・体力への不安」「ブランクがあることへの不安」という不安感がある。これら勤務条件の調整と職務への不安感は潜在保育士が就職あるいは復職へ踏み出せない要因となっている。保育士として勤務経験がある離職者を対象とした調査では、離職までの年数が3年未満 30%、3年以上5年未満 21%と離職者の約半数が5年未満で離職しており、早期離職の傾向が強い。

【保育士への就業を希望しない理由(複数回答可)】

順位	項目	件数	割合
1	賃金が希望と合わない	455件	47.5%
2	他職種への興味	413件	43.1%
3	責任の重さ・事故への不安	383件	40.0%
4	自身の健康・体力への不安	375件	39.1%
5	休暇が少ない・休暇がとりにくい	354件	37.0%
6	就業時間が希望と合わない	254件	26.5%
7	ブランクがあることへの不安	239件	24.9%
8	業務に対する社会的評価が低い	214件	22.3%
9	保護者との関係がむずかしい	188件	19.6%
10	その他	181件	18.9%
11	子育てとの両立がむずかしい	143件	14.9%
12	雇用形態(社員・パートなど)が希望と合わない	96件	10.0%
13	仕事の内容が合わない	88件	9.2%
14	将来への展望が見えない	82件	8.6%
15	教育・研修体制への不満	56件	5.8%
16	有期雇用契約が更新されるか不安	16件	4.8%

出典：厚生労働省職業安定局(平成25年5月実施)
「保育士資格を有しながら保育士としての就業を希望しない求職者に対する意識調査」
調査方法：待機児童が50名以上存在する市及び特別区を管轄する19労働局80安定所において2,033名の対象者を無作為抽出し、アンケートを実施
(厚生労働省政策統括官付政策評価官室アフターサービス推進室において表一部修正)

【保育士としての勤務年数】

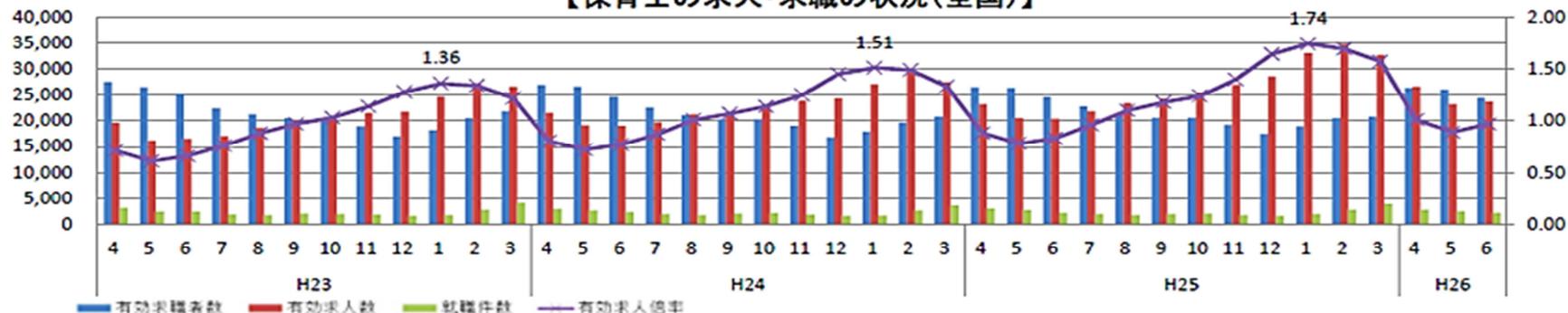


出典：厚生労働省職業安定局(平成25年5月実施)
「保育士資格を有しながら保育士としての就業を希望しない求職者に対する意識調査」
調査対象：保育士としての勤務経験がある668件を対象として調査

⁴ 保育士の平均賃金(きまって支給する現金給与額)は213.2千円(月額)。きまって支給する現金給与額…所定の支給条件、算出方法によって支給される現金給与額。手取額でなく見込額。現金給与額には基本給、職務手当、精皆勤手当、家族手当、時間外勤務、休日出勤等超過労働給与等も含まれる。(資料出所：厚生労働省「平成25年賃金構造基本統計調査」)

全国の状況

【保育士の求人・求職の状況(全国)】



都道府県別県の状況

【平成25年度の保育士の新規求人倍率(都道府県別)】



出典：厚生労働省「保育人材確保のための『魅力ある職場づくり』に向けて」平成26年8月

保育士の有効求人倍率は例年1月が最も高い（平成26年1月：全国平均で1.74倍）。通常保育士の採用活動は9月以降に始まり、冬が本格的な就職活動期となる。有効求人数は2月をピークに減少し、平成26年4月には有効求職者数とほぼ同数になっている。平成25年度の都道府県別新規求人倍率は東京の4.63が最も高く、山梨の0.86が最も低い。今回の調査対象である都府県においては、滋賀県の3.36が全国で2番目に高く、ほかの地域はいずれも1倍を超えている。

(3) 調査自治体における保育所及び保育士の状況

調査対象の自治体における保育所数及び保育士数の状況を次ページの表に示した。常勤の占める割合は73～91%、パートタイム勤務を含む非常勤は9～27%の割合である。

常勤専従保育士の採用数から退職者数をひいた勤務者の割合は保育士総数の3～6%である。香川県は保育士総数における常勤の割合が最も高く、非常勤が最も少ない。

【平成24年 保育所数・保育士数（総数・常勤・非常勤）・常勤専従保育士数（採用数・退職者）】

自治体名	保育所数	保 育 士（人）					常勤専従保育士（人）		
		総数	常勤	専従	兼務	非常勤	採用数 (A)	退職者数 (B)	(A)－(B)
千葉県	563	9,562	7,586(79%)	7,396(77%)	190(2%)	1,976(21%)	1,259	680	579(6%)
東京都	1,864	39,752	30,436(77%)	30,177(76%)	259(0%)	9,316(23%)	4,108	2,544	1,564(4%)
富山県	218	2,981	2,511(84%)	2,441(82%)	70(2%)	470(16%)	294	204	90(3%)
滋賀県	210	4,479	3,338(75%)	3,203(72%)	135(3%)	1,141(25%)	589	339	250(6%)
広島県	319	4,124	3,241(79%)	3,130(76%)	111(3%)	883(21%)	406	254	152(4%)
香川県	133	2,104	1,917(91%)	1,892(90%)	25(1%)	187(9%)	265	188	77(4%)
福岡県	487	7,988	6,564(82%)	6,416(80%)	148(2%)	1,424(18%)	1,159	787	372(5%)
大阪市	390	7,103	5,777(81%)	5,662(80%)	115(2%)	1,326(19%)	798	736	62(0%)
堺市	104	2,541	1,854(73%)	1,772(70%)	82(3%)	687(27%)	395	253	142(6%)
福岡市	185	4,437	3,452(78%)	3,358(76%)	94(2%)	985(22%)	659	496	163(4%)
久留米市	75	1,466	1,154(79%)	1,113(76%)	41(3%)	312(21%)	307	216	91(6%)

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「平成24年社会福祉施設等調査」より厚生労働省政策統括官付政策評価官室アフターサービス推進室作成

注1) 都道府県には政令指定都市・中核市の数値は含まない

注2) 「常勤」とは、施設・事業所が定めた常勤の従事者が勤務するべき時間数のすべてを勤務している者

注3) 「非常勤」とは、常勤以外の勤務者（ほかの施設にも勤務するなど収入及び時間的拘束を伴う仕事を持っている者、短時間のパートタイマー等）

注4) 「常勤保育士数」とは、常勤専従及び常勤兼務をあわせた人数（換算数ではない）

(4) 保育士・保育所支援センターの設置・運営

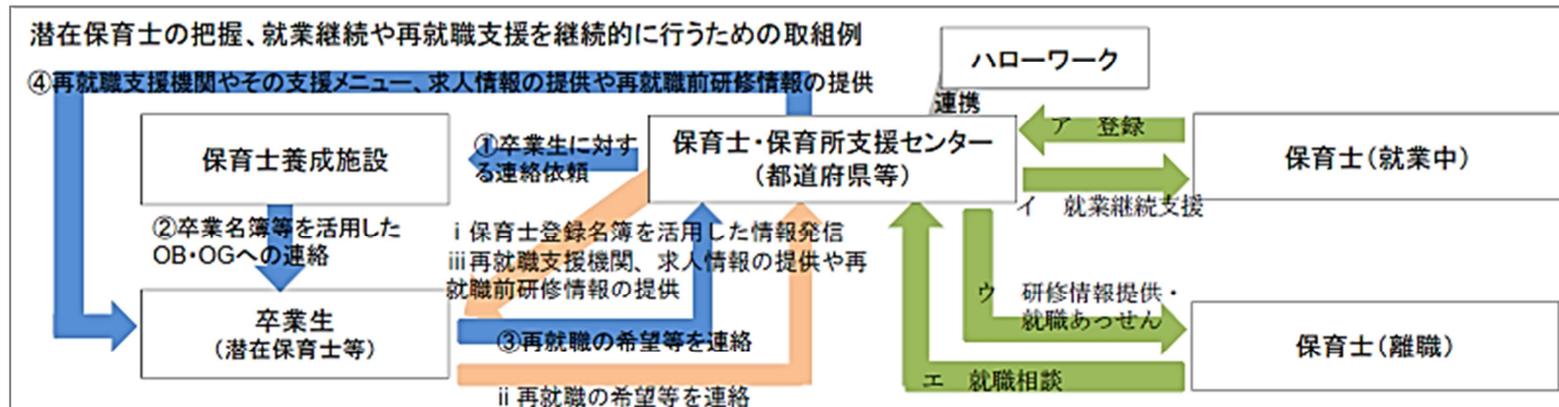
「待機児童解消加速化プラン」の支援パッケージのひとつである保育士確保施策として「保育士・保育所支援センター」が設置・運営されている。「保育士・保育所支援センター」は、潜在保育士の就職、保育所の潜在保育士活用支援等を行うことを目的としており、支援の対象は、潜在保育士、現職保育士、保育士資格の取得を希望する者、保育所等である。

「保育士・保育所支援センター」を設置した自治体は、市または県の直営によるか、社会福祉協議会または保育関係団体、民間の人材会社等に委託運営している。運営に当たっては、ハローワーク、保育士養成施設等、関係機関と緊密に連携をしながら取組を進め、きめ細かな支援を図ることが推奨される。

保育士の確保を図るに当たって、「保育士・保育所支援センター」は極めて重要な役割を果たしていると考えられることから、本調査においては、「保育士・保育所支援センター」を調査対象としたものである（2ページの一覧表参照）。

【保育士・保育所支援センターの主な業務内容】

- ・ 潜在保育士: 再就職に関する相談・就職あっせん、潜在保育士の掘り起こし(保育士登録名簿を活用した情報発信等)
- ・ 保育所: 潜在保育士の活用方法(シフト、求人条件、マッチング等)に関する助言
- ・ 保育士: 保育所で働く保育士や保育士資格取得を希望する者からの相談対応(職場体験など)
- ・ 人材バンク機能等の活用: 保育所への就職・離職時等に保育士・保育所支援センターに登録し、ア)就職継続のための支援、イ)離職後の再就職のための支援(求人情報、研修情報の提供)等を継続的に行うことのできる仕組みを構築



出典: 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 職業安定局「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取組」平成25年10月

(5) 調査対象の個別報告書まとめ

調査対象の 11 センターの概要は以下のとおりである。個別報告書の構成に基づき、以下の 3 点に集約して下表に示した。

- ア センター運営事業の実績（保育士の累計採用者数・うち潜在保育士数）
- イ センターの取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法
- ウ 各センターの課題

ア センター運営事業の実績（保育士の累計採用者数・うち潜在保育士数）

区 分		保育士の 累計採用者数	うち 潜在保育士数
1	ちば保育士・保育所支援センター	平成 25 年度～	10 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	44 人
		合 計	54 人
2	東京都保育人材・保育所支援センター	平成 25 年度	144 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	16 人
		合 計	160 人
3	富山県保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	87 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	17 人
		合 計	104 人
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	36 人
		平成 26 年度(～ 8 月)	10 人
		合 計	46 人

5	広島県保育士人材バンク	平成 25 年度	1 0 3 人	—
		平成 26 年度(～ 5 月)	3 6 人	—
		合 計	1 3 9 人	—
6	香川県保育士人材バンク	平成 25 年度	2 3 人	2 2 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	1 4 人	1 4 人
		合 計	3 7 人	3 6 人
7	福岡県保育士就職支援センター	平成 25 年度	4 3 人	2 2 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	1 2 人	9 人
		合 計	5 5 人	3 1 人
8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター)	平成 25 年度	1 0 9 人	8 0 人
		平成 26 年度(～ 8 月)	7 6 人	6 2 人
		合 計	1 8 5 人	1 4 2 人
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	平成 25 年度	2 0 人	1 0 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	5 人	4 人
		合 計	2 5 人	1 4 人
10	福岡市保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	2 4 6 人	—
		平成 26 年度(～10 月)	7 2 人	—
		合 計	3 1 8 人	—
11	久留米市保育士・保育所支援センター	平成 26 年度(～12 月)	1 人	1 人

【注】 「—」は、潜在保育士について把握していないもの。

イ センターの取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法

名 称	取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法
<p>1 ちば保育士・保育所 支援センター</p>	<p>【取組概要】 ①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『保育士人材バンク』の運営、⑥研修の企画・実施、⑦保育所施設見学会、⑧職員による外部イベント等への参加、⑨ハローワーク主催の面接会・説明会へのブース出展、⑩ノベルティグッズの作成等。</p> <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 『保育士人材バンク』における事業者支援の一環として行う「アプローチサービス機能」：求人事業所側が求職者情報を閲覧し、条件に合った求職者へ向けて就労の意向を打診できるサービス。センターのコーディネーターを介して行われる。 ◦ スマートフォン用のアクセス項目を設定しているほか、コーディネーター通信をメール配信し、Facebook やLINE 公式アカウントにてセンターの情報を積極的に配信している。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ オンライン機能を持つ『保育士人材バンク』が稼働しており、登録された「求人情報」「求職者情報」を広範囲に検索できる。Web サイトからのオンライン登録を基本としているがセンター窓口での登録も対応している。 ◦ 取扱い職種は保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師。 ◦ 再就職支援コーディネーターに保育士の有資格者を配置。
<p>2 東京都保育人材・ 保育所支援センター</p>	<p>【取組概要】 ①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育士就職支援研修会、⑥就職相談会、⑦保育士就職支援セミナー、⑧保育事業者セミナー、⑨保育実習研修、⑩保育所職場体験（高校生対象）等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 研修会と相談会は行政と共催、保育士就職支援セミナーは委託運営の上、都内各所で実施

		<p>している。</p> <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 保育士就職支援セミナーは保育士としての専門知識や保護者対応、応急手当など保育現場で役立つプログラム構成になっている。潜在保育士から復職した保育士の体験談がある。 ◦ 保育事業者セミナー（平成26年10月実施分）は雇用管理の改善を目的とした採用と定着に関する取組を講話した。東京労働局、都内ハローワーク、東京都との共催。 ◦ 保育士就職支援研修と就職相談会（平成26年度実施分）はセンター、東京都、開催地区行政との共催により都内6地域で開催した。地域性に特化し、潜在保育士の掘り起こしとして有効な対策となっている。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 窓口での求職登録者を対象としている。求職者には、求人情報を紹介し、勤務時間や雇用形態等を調整、希望者には紹介状を発行し、求職者から直接申し込む。 ◦ 取扱い職種は施設長（所長）・保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員。 ◦ コーディネーターに保育士、幼稚園教諭、産業カウンセラーの有資格者を配置。 ◦ 求人求職情報は『福祉のお仕事』（注）を活用している。 <p>（注）『福祉のお仕事』は全国社会福祉協議会が運営する福祉人材センター及び人材バンクに関する福祉分野の求人検索サイト。求人求職登録を『福祉のお仕事』のシステムと連携して運用している「保育士・保育所支援センター」がある。</p>
3	富山県保育士・保育所支援センター	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤職場見学・体験の調整手配、⑥保育職場説明会、⑦再就職支援研修の企画・実施、⑧学生への就職支援（求人票の送付）等。</p> <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 保育関係団体（富山県民間保育連盟、富山県保育連絡協議会）とはセンターの運営主体で

		<p>ある富山県社会福祉協議会が協力関係を構築し連携体制にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 就業の定着と能力の育成を目的とした再就職支援研修を実施している。内容は「ストレスマネジメント」や「労働法規」の講座、グループ討論によるコミュニケーションの向上、講演等。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職者には来所による登録を促し、求職相談を実施。 ◦ 取扱い職種は保育士・看護師・栄養士・調理師。 ◦ コーディネーターには、保育士資格と幼稚園教諭2種免許保有の人材を配置。 ◦ 求職者の希望する就業開始時期、就業条件に基づきコーディネーターが通勤可能な保育所をピックアップし、求人状況と内容をきめ細かく確認する。 ◦ 求人求職登録は『福祉のお仕事』を活用している。
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤「保育人材バンク事業」の運営、⑥再就職支援研修会、⑦出張登録相談会、⑧就職説明会（就職フェア）、⑨就業継続支援研修会、⑩保育士支援相談員による相談窓口の開設、⑪情報誌の発行等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 出張登録・相談会として県内各地の市民センターやマザーズジョブステーションにおいて登録者を募るなど広範に求職者の意向を把握している。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 一般社団法人滋賀県保育協議会（センター運営受託先）は県内の276認可保育所が加入しており、保育現場と連携したセンター事業の運営が可能。 ◦ 保育士支援相談員の配置による専用電話（ホットライン）の相談業務。 ◦ 就業継続支援研修会は、就業中の保育士対象の研修（フォローアップセミナー）及び保育士採用人材担当者対象の研修（労務管理者研修）を実施している。 <p>【マッチング方法】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ◦ 「保育人材バンク事業」は来所、電話、メールでの受付者を対象としている。 ◦ 取扱い職種は保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師。 ◦ 求人保育所と求職者の双方がセンターに登録し、求職者へ希望に沿った求人案件が紹介されるシステム。登録期間は3年（自動更新なし）。
5	<p style="text-align: center;">広島県保育士人材 バンク</p>	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『広島県保育士人材バンク』の運営、⑥保育士就職支援セミナー、⑦就職相談会の実施等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 相談業務は「しごとプラザ マザーズひろしま」に設置されている「マザーズハローワーク 広島」等と連携している。 ◦ 広島県保育連盟連合会に保育士就職支援セミナー、就職説明会、実技研修を委託運営している。就職説明会は取組内容の見直しを行い、平成26年度の参加者は前年度の3倍となった。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 実技研修は実習先を選択する（要相談）ことが可能であり、参加は有給である。 ◦ ハローワークとの差別化を図る取組として、求職者ひとりに対し一件の求人を紹介し、採否の結果を待って次を紹介している。 ◦ 就職説明会で配布した参加保育所の紹介冊子『参加保育所 保育園の紹介・施設の紹介一覧』では求職者への情報公開が進んでいる。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求人求職登録は『広島県無料職業紹介所 広島県保育士人材バンク』のホームページまたは人材バンクへの来所で手続きする。 ◦ 取扱い職種は保育士・看護師・保健師・栄養士。 ◦ 保育士就業支援員は保育士有資格者を配置。 ◦ 求職者登録の通知を受け取ると、保育士就業支援員が求人登録を照会の上、双方に連絡し、条件のすり合わせを行い、面接日を調整する。

		<ul style="list-style-type: none"> 採用・不採用の決定通知（連絡）期間を設け、保育所から求職者へ可能な限り期限内（臨時雇用：3～4日、正規雇用：1～2週間）に連絡することを依頼している。
6	香川県保育士人材バンク	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『香川県保育士ガイド』による広報、⑥潜在保育士復職支援研修会、⑦香川県主催の保育士就職相談会への参加等。</p> <ul style="list-style-type: none"> 潜在保育士復職支援研修は配慮が必要な子どもの保育や連絡帳の書き方等実践的な講習内容。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> Web『香川県保育士ガイド』による人材バンクの広報：「かがわ潜在保育士支援事務局」（県委託事業）、香川県と連携し、各保育所の情報・求人情報を届けるメルマガサービス、Facebook、Twitter などによる県内の保育所の紹介、現職保育士の声を YouTube で届けるサービス、研修会ミニセミナーの案内等を情報発信している。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求人求職登録は窓口と『香川県保育士ガイド』の登録ページで受け付けている。 取扱い職種は保育士・看護師・事務員。 コーディネーターは保育士と幼稚園教諭の有資格者で保育所勤務経験者を配置。 求職登録者には就業希望時期に応じ頻繁に連絡を入れる。希望条件と合致する新規求人情報が入ると、電話にて案内周知した後、メールまたは郵送で詳細を送付している。 『香川県保育士ガイド』は『福祉のお仕事』に掲載している求人求職情報と連動している。
7	福岡県保育士就職支援センター	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤就職相談会、⑦保育士養成施設在学生への就業支援等。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職相談会は定例実施と臨時実施がある。定例実施はセンターでの受付と電話対応、臨時実施は県内のハローワークにおいて出張相談会を実施している。

		<ul style="list-style-type: none"> ◦ センターを運営している福岡県保育協会が行う体験実習研修は、定期実施（日時限定）と随時実施（日程希望可）を設定し、希望者の利便性を考慮している。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ マッチングにおけるコーディネーターの相談対応と勤務条件の調整。 ◦ 求職登録者の増加を目的とした他機関との連携として、社会福祉協議会主催の職場説明会における相談窓口設置やハローワークにおける出張相談会などを推進している。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求人求職登録はセンターで受け付けている。求人情報は保育協会のホームページに掲載されており、求職者が閲覧し、センターが仲介し紹介する。 ◦ 取扱い職種は保育士。 ◦ コーディネーターには、保育所所長経験者を配置している。 ◦ 採用された求職者には、適宜、コーディネーターが就職先に出向き、直接近況を聞くフォローアップを実施している。
8	<p>大阪市保育士・保育所 支援センター (梅田センター・ 阿倍野センター)</p>	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育所就職フェア、⑥保育士有資格者対象研修、⑦保育所中堅職員対象研修、⑧保育所実習等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 「株式会社ニッソーネット」が大阪市から受託の上運営している。 ◦ 求職登録を2ヶ所のセンターで受け付けている。平日は（依頼に応じて）最長19時まで対応可能、土日も窓口を開設。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 年度毎の目標採用者数の設定。数字による見える化で目標達成に向けた具体的な進捗状況等を知ることができる。目標が未達成であれば委託料が減額され、目標値を大幅に上回ればインセンティブを加算するという条件で委託契約を交わしている。 ◦ 保育所就職フェアでは事前に予約した来場者には保育関連書籍の無償配布を行い来場の動

		<p>機付けに取り組んでいる。</p> <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職登録はセンターの来所による受付。 ◦ 取扱い職種は保育士。 ◦ コーディネーターは保育士有資格者と保育士就職の専門コーディネーター経験者を配置。 ◦ コーディネーターが求職・求人者双方のニーズを十分に踏まえて、勤務条件の調整を実施。 ◦ 求職者が就労後にギャップを抱かないよう、可能な限り施設の事前見学を勧奨し、求職者の希望に応じて、センター職員が施設見学に同行している。 ◦ 電話と相談による就業後のフォローアップを実施している。
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤市内民間保育所の求人情報の収集、⑥求職者相談会、⑦潜在保育士対象研修、⑧広報周知の実施等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職者相談会（市役所庁舎内）は毎週火・木曜日（13時～17時）、出張相談会（「さかいJOBステーション」）は毎月第2金曜日（13時～17時）に実施。いずれも事前予約制。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ コーディネーター自身の経験に基づいた親身での確かなアドバイスによる相談業務とマッチングは、求職者が抱く育児との両立に対する不安やビジネスマナーとしての言葉遣い、身だしなみに対する助言まで対応している。 ◦ 市の広報誌、地域の無料情報誌、折込チラシに事業内容や出張就職相談会実施を告知する広報周知。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職求人登録はセンターで受け付けている。 ◦ 取扱い職種は保育士・看護師・栄養士・調理員。 ◦ コーディネーターは保育士有資格者（市内公立保育所元職員）を配置。

		<ul style="list-style-type: none"> ◦ コーディネーターは、求職者から通勤経路や希望する保育担当年齢等、希望就業条件について、きめ細かく聴取することを心がけ、施設見学の勧奨も行っている。
10	福岡市保育士・保育所支援センター	<p>【取組概要】</p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、④求人者（事業所）への助言指導、⑤保育士就職支援研修会、⑥保育所見学、⑦保育所実習等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 市内の区役所6ヶ所において各区子育て支援課と連携しセンターを臨時開設している。 ◦ 相談業務は4人の職員が持ち回りで電話相談と来庁者に対応しており、専門的知識が求められる場合は必要に応じて労働局への相談を紹介している。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職者と求人者との細やかなニーズ調整。コーディネーターが作成した市内の保育所分布図を用いて、求職者の通勤圏内を考慮しながら希望条件に合った保育所を探している。 ◦ 一般社団法人福岡市保育協会と連携体制を築いており、必要に応じて協力を要請し、求人票の記入法、賃金の設定等について改善案を提案している。保育士就職支援研修会を連携して開催している。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 求職登録はセンターで受け付けている。 ◦ 取扱い職種は保育士。 ◦ 保育士有資格者の職員とコーディネーター（保育士就職相談員）を配置。 ◦ 求職者と1時間ほどの面談で勤務条件、通勤時間、当番勤務可否等を聞き取り調整を図る。 ◦ 遠方者や来所が難しい求職者には電話、メール、郵送で対応している。 ◦ 登録に来所したものの就職への意欲がそれほど強くない求職者、ブランクや経験不足等への不安が大きい求職者に対しては「保育士就職支援研修会」への参加を勧奨し、就職への意欲を適時間い合わせるなど、フォローアップを含めた幅広い支援を行っている。

11	久留米市保育士・ 保育所支援センター	<p>【取組概要】</p> <p>① 求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育士就職支援セミナー等。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内認可保育所の求人情報は市のホームページで公表されている。 <p>【特徴・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士就職支援セミナーは保育士有資格者及び資格取得予定者を対象としている。内容は保育所の現状、保育士の経験談等。市内の認可保育所の見学申込を受け付けている。 子ども未来部児童保育課(センター運営先)が担当する保育士対象研修はセンター業務を補完する講座研修である。 <p>【マッチング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 求人求職登録は窓口または郵送やFAXで受け付けている。 取扱い職種は保育士。
----	-----------------------	--

【取組概要について】

- すべてのセンターで「就職支援（求人求職登録/求人情報の提供）」と「相談業務（潜在保育士/現職保育士/各保育所）」が実施されている。
- すべてのセンターで「窓口対応」による求人求職登録を受け付けている。
- 求人求職登録は窓口対応のほか、Webで受付をする5センター（千葉県、東京都、富山県、広島県、香川県）がある。
- 広報周知に関する取組としては「ノベルティグッズの配布」（千葉県）「情報誌の発行」（千葉県、滋賀県）「求人情報誌への掲載」（堺市）などがある。

【特徴・工夫点について】

- 研修、セミナー、就職相談会の実施に特徴を持つのは6センター（東京都、富山県、滋賀県、広島県、大阪市、久留米市）である。
- コーディネーターまたは保育士支援相談員の役割が特徴となっているのは4センター（滋賀県、福岡県、堺市、福岡市）である。
- 他機関との連携が特徴となっている4センター（富山県、滋賀県、福岡県、福岡市）は、主に保育関係団体との協力関係による。
- 求職者が有給で保育所の実技研修に参加する（広島県）、年度毎の目標採用者数の設定（大阪市）は調査対象における独自の取組である。
- 広報周知に関する特徴的な取組はWebによる情報発信（千葉県、香川県）または地域の無料情報誌等にセンター事業を告知する（堺市）などがある。

【マッチング方法について】

- 保育士有資格者のコーディネーター（保育士就業支援員、保育士就職相談員）が配置されているのは9センター（千葉県、東京都、富山県、広島県、香川県、福岡県、大阪市、堺市、福岡市）である。

- ・コーディネーター（保育士就業支援員・保育士就職相談員）の役割は保育士など保育所勤務の経験に基づく保育人材の勤務形態に対する理解と親身な相談対応にある。

ウ 各センターの課題

名 称		課 題
1	ちば保育士・保育所支援センター	① 潜在保育士の掘り起こし ② 県内各地域における求人内容の偏在
2	東京都保育人材・保育所支援センター	① 潜在保育士の掘り起こし（潜在保育士の把握） ② センター認知度の向上 ③ 関係機関との連携 ④ 求職者のニーズに沿った丁寧な（長期的な）相談支援
3	富山県保育士・保育所支援センター	① 求職者と求人者の希望勤務条件の違い ② ブランクのある求職者の再就職 ③ 人材の育成、定着に対する保育所側の意識改革
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	① ダイレクトメールの発送（広報周知）に関する保育士登録情報の未活用
5	広島県保育士人材バンク	① 求職者、求人者へのセンター周知方法
6	香川県保育士人材バンク	① 広報周知の不足による人材バンクの知名度不足 ② 求人登録の確保と求人ニーズの集約
7	福岡県保育士就職支援センター	① 求職登録件数の少なさによる求人登録情報の滞留 ② 県内でのセンター利用状況の地域間格差 ③ 保育士養成施設に向けた事業協力や施策の設定

8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター)	① 登録者の地域偏在 ② 50代以上の就業率改善 ③ 実習を有効に使ったマッチング率の向上
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	① 広報周知に対する潜在保育士の応答の少なさ ② 近隣の関係機関との連携体制
10	福岡市保育士・保育所支援センター	① センターの支援対象である潜在保育士の掘り起こし ② 保育士の処遇に関連した保育所の採用状況に対する取組
11	久留米市保育士・保育所支援センター	① センターの周知不足

【課題について】

- ・ 「潜在保育士の掘り起こし」(千葉県、東京都、福岡市)「広報周知の向上」(東京都、滋賀県、広島県、香川県、堺市、久留米市)等、センター業務の周知強化が挙げられている。
- ・ 「利用状況及び登録者の地域格差」(千葉県、福岡県、大阪市)は求人情報と求職者情報の都市部集中に要因があると思われる。
- ・ 「他機関との協力関係の構築」を課題に挙げているセンター(堺市)がある。

(6) 「保育士・保育所支援センター」事業における(再)就職者、研修等参加者のご意見

本項では「保育士・保育所支援センター」事業を利用して保育現場へ再就職した方、同事業を利用して再就職者を雇用した保育所事業者の方、相談業務を利用した方、研修等に参加した方のご意見を以下に紹介する。

属性	利用者の方の声
再就職をした方	県外の幼稚園で2年、保育園で2年働きました。富山での仕事は初めてでしたが、支援センターの開設を知り、「ここに行けばなんとかなる」と思いました。支援センターでは条件に見合った保育園の情報を得ることができ、見学もさせてもらいました。仕事を探すのであれば、いろんなどころを見るといいですね。見学に気軽に応じてもらえますし、自分に合った園との出会いがきっとあると思います。(富山県)

	<p>復職後の勤務先は「保育士の就職相談会」に参加して知りました。幼稚園児の子どもがいるので、家から近く、送迎に便利だったことが一番の理由です。毎日の生活に「はり」が出たので、復職して良かったと思います。私の場合は、10年近く現場を離れていました。もう一度、保育士として働くことに不安もありましたが、やっぱり保育士の仕事はステキだなと改めて感じています。（香川県）</p> <p>自分に子どもができて、沢山の子どもと触れ合うことで子育てを学べると思っていた時に、高松の広報で【香川県保育士人材バンク】を知りました。保育士に復職したいという気持ちがあったので登録し、タイミングよくこの保育園を紹介していただき現場復職することになりました。毎日癒やされて働くことができ、家での笑顔も増えました。（香川県）</p> <p>販売職に携わっていたのですが、店舗の閉店がきっかけで転職を考えていたところ、保育士の資格を持っていたので周囲の方からも勧められました。ただ、約17年のブランクがあったので、長期的に続けられるのか、年齢的に体力や、職場の雰囲気、仕事内容など全般的に不安に感じていました。保育の仕事に戻れたことはすごく良かったと思っています。この担当さんだからこそ復職できたと思っています。毎日、いろんな子どもたちの成長が見られることが楽しいです。潜在保育士の方は、保育のお仕事に携わりたいという気持ちがあれば、一度チャレンジしてみて、自身の目で現場を見てほしいと思います。自分自身に合っている園を探すことがすごく大事ななと感じています。（大阪市）</p> <p>卒業後、一般企業への道を選んだので、保育士として就職するまでは5年空きました。今までは大人相手に仕事をしていたのが、子ども相手の仕事になったので、言葉づかいやうまく通じるのかなということが一番不安でした。また、子どもに対しての危機管理についても不安はありました。ですが、想像していたよりも楽しく働いています。子どもたちは、毎日違って、短時間でも変化がわかります。昨日はできなかったことが、今日はできるようになったりと、小さい変化が見えることにやりがいを感じます。潜在保育士から復職を目指す方は、私も同じでしたが、未知の世界に入るので、絶対に不安だし躊躇してしまうと思います。一歩踏み出したら、後悔はしない仕事だと思います。（大阪市）</p>
<p>再就職前後に実習等を受講した方</p>	<p>子育て中のため、不安な気持ちがあり、仕事と家庭の両立に迷いましたが、おかげさまで実習を通して自信がつき復職できました。（東京都）</p>
<p>センターを利用した保育所所長</p>	<p>せっかく資格を取っても、保育士にならなかった方、結婚や出産など生活環境が変わって辞められた方、そういう方たちの中で、もう一度やってみようという方がいるとすごくうれしいし、助かります。（富山県）</p>
<p>就職支援セミナー受講者の方（東京都）</p>	<p>約30年のブランクの後、パートで保育士の仕事をしたいと考え相談会・セミナーを受講した。現在の保育をとりまく社会状況や実情を知ることができ、今後仕事をする上で大変勉強になった。私のような潜在保育士はいるはず、その力を活用して未来ある子どもを育てるためにもこのようなセミナーは重要と考える。現在自身も就活中。</p>

	<p>再就職に当たって非常に有用なものであり、実習の機会も得られたことは有難かった。就職活動の際に、ハローワークで持っている情報と共有されていると、仕事探しがよりスムーズにできたかと思うが、支援の仕方（求職者に対する対応など）はハローワークよりも良い印象で相談しやすく、気軽に足を運べた。</p>
<p>相談業務を利用 した方 (堺市)</p>	<p>とても話しやすく、自分の思っている事など伝えることができた。</p>
	<p>今までの保育の経験を活かせるような職場で子ども達に関わりたい。</p>
	<p>とても親切に話をして下さり、ホッとしました。楽しい時間をありがとう。</p>
	<p>初めて来所したが、明日面接の話をいただき大変感謝している。ひとりで職を探すのは不安もあったのでとてもありがたい。</p>
	<p>年齢を重ねているのでなかなか見つかりにくいと思っていたが、自分も子育ての経験を活かして調理の仕事に頑張れる望みがもてそうで嬉しかった。</p>
<p>保育士支援研修会 参加者の方 (福岡市)</p>	<p>前回に参加した時と同様、大変参考になった。現在、保育士資格を取得したばかりで登録申請中だが前回に参加した見学が勉強になったので今回も希望する予定だ。</p>
	<p>求人票が多く出ており、研修内容も楽しくわかりやすい会だった。求職に関する不安が楽になった。</p>
	<p>不安材料が少なくなった。前向きに就活したい、仲介していただけるのが心強い。</p>
	<p>不安な気持ちで来たが、研修中、何度も「やってみて下さい」と言われて、少し自信が出た。</p>
	<p>空白があり、どういう内容か知りたくて参加した。</p>
	<p>現場の先生方と話す機会をいただけて、大変ありがたかった。不安なことが多い中嬉しかった。</p>
	<p>とても有意義な時間だった。やはり保育士として働きたいと改めて思った。</p>
	<p>細かい内容で大変役立った。連絡帳の書き方は改めて勉強になった。</p>
	<p>保育士資格を持っていても現場経験に空白のある方が多く、支援が素晴らしいと思った。</p>
	<p>連絡帳の記入など実際の保育に役立つ情報ありがたい。</p>
<p>託児があったので、参加できた。仕事を先に決めるか、保育所を先に決めるか難しい。</p>	

4 本調査に関するアフターサービス推進室の提案

本調査に関する当室の提案を以下のとおりまとめた。本調査対象のセンターだけではなく、各機関との連携により推進される対策もあり、関係機関におけるセンター事業内容の共通理解が求められる。「待機児童解消加速化プラン」の中でも柱の一つとなっている保育人材確保の有望な事業が、各機関との協力関係により着実に促進されるため、センター関係者のみならず保育人材確保に関わるすべての関係者の方々に参考にしていただければ幸いである。

(1) 【潜在保育士の掘り起こしに関する提案】

センター事業の利用案内に関して、調査の過程で「潜在保育士及び現職保育士の把握が難しいため、情報発信の対象者の居所がわからない」という声が多く聞かれた。要因の一つに保育士登録者の現住所及びこの保育士登録者が就労できる状況にあるのか否かの把握がされていないため、潜在保育士の割り出しができないという問題がある。その対策として、「保育士確保プラン」において新たな取組として掲げている「保育士・保育所支援センターにおける離職保育士に対する再就職支援の強化」の積極的な取組を提案する。これは、保育所を離職した保育士に対し、「保育士・保育所支援センター」に対する登録を促進し、再就職希望の状況を随時把握し、再就職に向けた研修案内・求人案内などの情報提供等、再就職に向けたきめ細やかな支援を行うと共に、シンポジウムの開催や集客力の高い施設での出張相談会の実施など、普及啓発を通じた「保育士・保育所支援センター」の利用促進を図るものである。

また、本調査の対象ではないが、一部の「保育士・保育所支援センター」においては都道府県の協力の下、保育士登録簿⁵に登録されている保育士に対しアンケート調査を実施するなど、保育士登録簿を活用した潜在保育士の掘り起こしを行っており、ほかの「保育士・保育所支援センター」においても積極的に取り組まれるよう提案したい。

(2) 【関係機関と連携した Web の活用に関する提案】

センター業務を広く情報提供するために Web の活用を提案する。センターの広報周知を Web で行う環境設定によって、多くの求職者に対する情報発信が可能になる（自治体ホームページ等の活用）。センターの広報及び求人求職登録機能に Web 利用を実施しているセンターでは、幅広い年齢層に向けてセンターを周知する手段となっている。センターを利用するきつ

⁵ 保育士有資格者が保育士として働くに当たって、氏名、生年月日など厚生労働省で定めた事項を都道府県知事に登録申請した名簿。児童福祉法の一部改正により、平成 15 年 11 月 29 日から保育士業務を行う者は都道府県知事に登録し保育士証の交付を受けることが必要となった。

けとして Web が活用されることで、保育士有資格者の掘り起こしにつなげることを目的とする。

(3) 【人材の育成と定着に関する提案】

センターにおける保育士就労支援研修の実施を提案する。研修は、ア 保育士（再）就職前研修⁶、イ 就業継続支援研修とする。

ア 保育士（再）就職前研修

「連絡ノートの書き方」「配慮の必要な児童への接し方」「救急手当」など（再）就職に際して対象者が最も知りたいと感じている内容と「保護者への対応」「行事の準備などによる持ち帰り作業の軽減法」「事務作業の効率化」などの実務作業に関する内容などが想定される。研修を実施しているセンターの求職者または受講者からは「保護者への連絡ノートを書くのが難しいので子どもの見方、書き方などを知りたい」「連絡帳の記入などで実際の保育に役立つ情報はありがたい」「保育所に就職前にセミナーを受講し、手遊びを取り入れたり、子どもと接する上での注意を活かすことができたのでよかった」などの声があった。研修は（再）就職に対する不安を解消して求職活動に対する垣根を低くする効果があると期待される。

イ 就業継続支援研修

(7) 園長（保育所によっては理事長を対象）、主任など管理者を対象とした研修

本研修は、保育士の就労環境整備の一策と位置づけ、園長（保育所によっては理事長を対象）、主任など管理者を対象とした“人材育成”の観点から行うことを目的とする。調査の過程で「良い雰囲気（コミュニケーションが円滑な職場環境）の保育所は働きやすく、長く勤務する保育士が多い（保育士が辞めない）」という意見があった。それにも関わらず、保育士の離職理由に「職場の人間関係」を要因とする⁷ものがあり、さらに求職活動においても「説明会や見学会に参加すると保育士の立場に対する配慮を感じられない管理者の説明方法などに落胆する」などの声がある。業務上の指導に加え、管理者が保育士と意見を共有し、精神的にサポートする意識を持つことで職場環境の充実が図られると想定される。保育従事者が自由に意見交換をし、コミュニケーションが自然に図られるような職場環境及び保育環境の形成によって、就業を継続する保育士が増加すると考える。

⁶ 名称に（再）と付したのは保育士資格取得後、保育士として就労しなかった対象者を含むため。

⁷ 「保育士の再就職支援に関する報告書」平成 23 年 12 月（平成 23 年度厚生労働省委託事業）によると「職場環境の悩み」の全 13 項目中、4 番目に高い割合(22.5%)となっている。

(1) 現職保育士を対象とした研修

本研修は、勤務1～3年の新人保育士を対象とし、保育士・保育所支援センターによる長期的な支援や離職防止の観点から行うことを目的とする。一例として就職前の期待とギャップへの対応方法、新人保育士にとって負荷の大きい業務（保護者対応等）に関する講座研修、業務内容の情報交換を通じた悩みや不安感、やりがいの共有など継続的に就業する動機付けを目的としたグループワークの実施などが想定される。新人保育士をサポートする取組として実施されることを期待する。

(4) 【雇用管理助成制度の利用案内に関する提案】

保育所事業者に向けた雇用管理に関する助成制度の積極的な広報周知を提案する。具体的には、保育士を含む保育所職員の仕事と家庭生活の両立支援に取り組む事業者（保育所を運営する法人または企業）に対する助成制度の案内周知である。助成制度の一例として、①中小企業両立支援助成金（代替要員確保コース：育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業取得者を原職等に復帰させた事業者に一定金額を助成する制度）、②キャリアアップ助成金（短時間正社員コース⁸：短時間正社員制度を規定し、(a)雇用する労働者を短時間正社員に転換した場合、または(b)短時間正社員を新規で雇い入れた場合に一定金額を助成する制度）などがある。

(参考 URL)

① ⇒ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000059704.pdf>

② ⇒ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11650000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu/0000043425.pdf>

保育士有資格者が就業していない理由とした不安要素のうち「家庭との両立」が最も高い割合を示した⁹。保育士を含む保育所職員に関する短時間勤務利用や産休・育休の取得の法制度を保育所事業者に対して周知し、雇用管理助成制度の活用を促すことで、ひとりでも多くの保育士が継続的な就業が可能になる環境整備が進められることを目的とする。

⁸ 平成27年4月以降は「多様な正社員コース」に改称予定。

⁹ 「保育士の再就職支援に関する報告書」平成23年12月（平成23年度厚生労働省委託事業）によると就職に不安がある対象者のうち、不安要素（個人の状況）として「家庭の両立」（48.6%）、次いで「自身の健康・体力」（45.4%）だった。（選択肢6項目・複数回答可）

保育所において、雇用管理助成制度を活用し、保育士が短時間正社員として勤務できるようにするなど、保育士の多様な働き方を促進するための取組を進めることが保育士確保につながることから、「保育士・保育所支援センター」においては、保育所に対し、助言等を積極的に行うことで、保育士の再就職につなげていくことが求められる。

5 最後に

本調査においてご協力いただいた地方自治体及び各センターの関係者の皆様方に改めて御礼を申し上げますと共に、待機児童解消の有効な対策として保育士・保育所支援センター事業が運営されることを念願する。また、保育に携わるすべての方々の熱意によって保育環境の整備が進められている現状で、保育の重責を担う保育士人材がひとりでも多く働きやすい環境に出会う（または就労の機会を得る）ための一助となれば幸いである。

II 個別報告書

「保育士・保育所支援センター」事業を実施する 11 自治体を対象として書面及びヒアリングによる訪問調査を行い、11 の個別報告書をまとめた。

1 ちば保育士・保育所支援センター

ちば保育士・保育所支援センター（以下センター）は社会福祉法人千葉県社会福祉協議会に千葉県から委託運営され、平成25年8月6日に開設した。無料職業紹介所として設置し、センター長は千葉県福祉人材センター長と兼務である。専任で保育士資格を持つコーディネーターが1人配置されている。センターの開所時間は月曜日～土曜日の10時～18時とし、ほかの職種に就業中や、育児・家事のため平日は時間が取れないなど、様々な状況下にある求職者に対応したセンター運営となっている。

1 センターの取組内容

業務内容は『保育士人材バンク』の運営、マッチング、保育職関連者の相談・支援、研修の企画・実施、施設見学会等である。保育士有資格者の掘り起こしを目的とした広報活動に積極的に取り組み、ノベルティグッズの制作、配布を実施し、職員が外部の就職フェアやセミナー、相談会等に赴き、センターの周知を図っている。平成25年度には県内のハローワークが主催する面接会、説明会、セミナーにブースを出展し、5日間で48人の相談者が来場した。また、他団体主催、もしくは近隣の都県で催される就職説明会等に職員を派遣し、保育ブースを設けた4日間で計30人の相談者が来場した。センターに寄せ

られる保育の求人・求職に関する相談においても、コーディネーターが対応している（平成26年11月末時点の累計相談件数：1,210件）。

(1) 『保育士人材バンク』の運営

平成26年1月よりオンライン機能を持つ『保育士人材バンク』が本格稼働している。「求人情報」「求職者情報」の入力に基づく登録機能と検索機能により、認可保育所の保育職（保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師）を対象として情報発信を行っている。平成26年11月現在で有効求職登録者532人があり、登録時にオンライン上で求職者情報（項目は性別・年齢・居住地域・就労状況・所有資格・保育士試験・他資格・希望職種・希望勤務形態・求職希望時期・求職希望地域・給与の希望）の公開の

【ちば保育士・保育所支援センター ホームページ トップ画面】



可否を選択する。

同時期の求人登録は求人件数 230 件、求人数 723 人に上る。登録事業所数は 139 ケ所が登録を承認されている（登録は現時点で認可保育所・児童福祉施設のみとしている）。

【ホームページ 求職者情報画面（公開可の方の数字）】

現在、ちば保育士・保育所支援センターにご登録いただき、求職されている方の地域別の総数を掲載しています。

地域	すぐに就職を希望されている方	いずれ就職を希望されている方	合計
千葉県全体	143名	287名	430名
千葉地域	65名	130名	195名
東葛飾地域	50名	101名	151名
印旛地域	20名	28名	48名
香取地域	1名	1名	2名
海匝地域	0名	4名	4名
山武地域	4名	4名	8名
長生地域	0名	5名	5名
夷隅地域	0名	1名	1名
安房地域	0名	1名	1名
君津地域	3名	12名	15名

2014年12月01日 現在

(2) 講座の実施

平成 26 年度は就職支援講座「保育職働（しょくどう）」を全 8 回開催し、延べ 100 人が参加した（「保育職働」46 人、「保育職働（実践編）」54 人）。講座の内容は就職活動に向

けたガイダンス、改定保育所保育指針の解説、保育現場の実情、保育現場で役立つ手遊びや歌など、いずれも参加者のニーズを踏まえた内容である。開催時間は金曜日の午前 10 時～11 時 30 分という参加希望者の要請に応じた参加しやすい時間帯で設定している。

【保育職働（実践編） 平成26年度9月～10月実施状況】

日 時	9月5日 (金)	9月19日 (金)	10月10日 (金)	10月31日 (金)
	10:00～11:30			
講座名	保育記録の書き方	乳幼児保育基礎	保育現場の実際	保育現場でのコミュニケーション
内 容	指導案・日案・保育記録の書き方	乳幼児期にみられる特徴と保育の仕方	最近の保育事情・保護者支援について	現場で役立つ・手遊び・歌・身体を使った保育
講 師	保育士養成施設 講師			
受講者数 (バンク登録者)	10(6)	13(5)	13(5)	18(4)

また、平成 26 年度は 7 月～8 月にかけて「保育士のしごと就活ミニ講座」と題して、保育現場での接遇・クレーム対応研修を全 4 回開催し、延べ 23 人が参加した。会場は会議室を使い、講師は接遇対応を専門に請け負う民間会社から招いている。ほかに講座の実施はビジネスマナーに特化した内容（ビジネス敬語、マナー向上の基本等）や民間企業の化粧品会社から講師を招いたメイクアップ講座など、就職活動に役立つ実践的なものとなっている。

(3) 広報活動

センターの広報周知としてチラシ、広報用カード各2万枚、ステッカー2,000枚、ノベルティグッズ（ボールペン：500本、手帳：2,000冊、文具：2,000個、ほかクリアファイル、エコバッグ）を作成した。センターの最寄り駅である千葉駅の携帯時刻表と一緒に配布し、利便性を考慮している。

【ちば保育士・保育所支援センター ノベルティグッズ(ステッカー、メモ用紙)】



(4) 保育ブースの開設

県内のハローワークで開催される就職説明会に赴き、センターのブースを開設し、潜在保育士の掘り起こしと広報周知に取り組んでいるほか、近隣都県で実施される社会福祉協議会主催の就職フェアにも出向き、保育ブースを開設している。

【ハローワーク主催 就職面接会・就職フェアにおけるブース設置状況】

年度	月日	場所	実施名	来場者	相談者	備考
平成25年度	11月15日(金)	ハローワーク千葉	福祉人材就職面接会	95	7	ちば保育士・保育所支援センター保育ブース設置
	1月21日(火)	ハローワーク松戸	福祉の仕事合同就職面接会	84	5	
	1月31日(金)	ハローワーク市川・市川市・浦安市共催	保育と介護のお仕事相談会	23	18	
	2月4日(火)	松戸公共職業安定所	保育のしごと 就職支援セミナー	55	5	保育分野の求人状況や就職活動についてミニレクチャー
	2月18日(火)	船橋市保育士就職支援研修会・合同就職説明会	船橋市保育士就職支援研修会・合同就職説明会	53	13	参加事業所11/研修参加者22
平成26年度	5月13日(火)	ハローワーク松戸	福祉人材就職面接会	65	3	ちば保育士・保育所支援センター相談ブース設置
	6月28日(土)	茨城県社会福祉協議会主催/水戸EXCEL	福祉の就職総合フェア		15	
	7月28日(土)	千葉市民間保育園協議会主催/京業銀行プラザ	就職面接会		15	
	9月2日(火)	ハローワーク市川	福祉人材就職面接会	79	15	
	10月2日(火)	ハローワーク成田・佐倉市社会福祉協議会	福祉人材就職面接会	44	3	
合計				498	99	

2 センター運営の特徴・工夫点

『保育士人材バンク』の「アプローチサービス機能」は求人事業所側が求職者情報を閲覧し、条件に合った求職者へ向けて就労の意向をアプローチするものである。閲覧できるのは登録時に「情報公開」を可とした求職者情報(氏名など個人情報除く)であり、アプローチはセンターのコーディネーターを介して行われる。求人事業所側が一件の求人について照会できるのは3人まで、回数は月2回までと定めている。これまで90件の利用があり、20歳から59歳までの求職者205人を紹介した。そのうち6人が採用に至っている(平成26年11月30日時点)。

多くの利用者に対してできるだけ気軽に利用してもらいたいという方針から、スマートフォン用のアクセス項目を設定している。さらにコーディネーター通信を随時メール配信し、FacebookやLINE公式アカ

【スマートフォン用 センターHP】



▶ 保育士・保育所支援センターとは？

▶ 保育士人材バンクとは？

▶ オンライン登録はこちら

▶ 施設・事業者の方へ

▶ 千葉県福祉人材センター

▶ お知らせ・新着情報

▶ お問い合わせ

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
千葉県福祉人材センター

・開所日
月～土曜日 午前10時～午後6時
(定休日:日・祝・年末年始)
TEL. 043-222-2668(専用)
FAX. 043-222-0774

〒260-0015
千葉県千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル6階
JR線・京成千葉線・千葉都市モノレール線「千葉駅」徒歩3分

ウントにてセンターの情報を積極的に提供している。

3 センター運営の実績

平成26年11月末時点で、オンライン有効求職登録者532人のうち、就職が41人、内定段階が13人、計54人が採用に結びついている。センターの公式ホームページのアクセス数が、開設当初より月平均1,900弱の件数を記録し、累計で約29,500アクセス数に達するなど関心の高さがうかがえることから、ニーズに応じたリアルタイムな情報発信に努めている。実際の保育現場を見ることで、求職への意欲を高める目的から保育所見学会を実施している。平成25年度は3回の実施で39人が参加し、内定者が2人、平成26年度は5回の実施で23人の参加者があった。

【オンライン登録者の状況 平成25年8月～平成26年11月末】

有効求職登録	求人登録件数	求人登録人数	就職件数 (報告)
532	230	723	54

4 センター運営の課題

潜在保育士の掘り起こしが課題である。どこに何人いるか、把握が難しい。また県内の各地域の求人内容に差が生じ、偏りがある。例えば房総方面は求人が少ない、あるいは東京に近在する地域は給与が高めで、求職者が集中し、近隣地域の雇用確保が難しいなど首都圏のベッドタウン特有の課題がある。

2 東京都保育人材・保育所支援センター

東京都保育人材・保育所支援センター（以下センター）は東京都福祉人材センター（以下福祉人材センター）の一部署として平成21年9月15日に開設され、無料職業紹介事業を実施している。東京都より委託運営し、東京都福祉保健局少子社会対策部保育支援課と協力関係を築きながらセンター業務を推進している。センターの人員は保育人材コーディネーター（以下コーディネーター）を中心とした4人（正規職員1人、非正規職員3人）が配置され、開所時間は月曜日～金曜日の9時～20時、土曜日の9時～17時である。

1 センターの取組内容

業務内容は就職支援（相談・マッチング）、保育士就職支援研修と就職相談会、保育士就職セミナーの企画・実施である。研修と相談会は行政との共催、セミナーについては委託先を設け、都内各所で実施している。保育実習は潜在保育士だけではなく、保育職の魅力をアピールすることを目的として、高校生を対象とした職場体験を実施している。就職相談支援、マッチングの業務は福祉人材センターの一組織として

【東京都福祉人材センター 受付】



長年培ってきたノウハウを活かした取組を進めている。

(1) 「福祉のお仕事」の活用

求人・求職登録機能はセンターが開設する以前の平成9年から『福祉のお仕事』（福祉人材センターが運営するWebシステム）を活用した取組を進めている。募集職種は施設長（所長）・保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員と保育所に関わる人材全般である。取り扱う雇用形態は正職員、常勤（フルタイムでありながら雇用契約期間に定めあり）、非常勤、パートタイムであり、保育所での勤務を希望する人材に向けて幅広い選択を提示している。平成26年9月時点での有効求職登録者は117人、登録事業所数は1,151事業所（認可・認証・認可外のいずれも公立と私立）に上る。新規登録者の獲得は保育士就職支援セミナーや保育士就職支援研修、就職相談会などで出張登録会を実施している。

(2) マッチングの実施

マッチングは窓口で求職登録をした方を対象にコーディネーター（保育士、幼稚園教諭、産業カウンセラーの有資格者を配置）が対応し、不在の場合は福祉人材センターの相談員が対応する。求人求職情報は『福祉のお仕事』に登録された情報である。窓口に来所した求職者には希望に近

い求人情報を紹介し、必要な場合は勤務時間や雇用形態などを調整する。希望者には紹介状を発行し、求職者から直接事業者に応募する。応募に際して履歴書や職務経歴書の書き方を指導し、事業所との面接についても想定質問や留意点を伝えている。求人数は常時約 150 件ある。平成 25 年度は新規求人件数：1,090 件、新規求職者数：445 人、平成 26 年度（～9 月）は新規求人件数：667 件、新規求職者数：200 人であった（すべて保育人材全般）。

(3) 保育士就職支援セミナーの開催

平成 26 年度は都内 9ヶ所で計 10 回開催する予定である。いずれも 2～3 日の期間を設け、午前 9 時 30 分以降から 17 時までの時間編成になっている。定員は各回 40 人、キャンセル待ちが出るほどの申込者数になる回もある。運営は民間の保育士養成施設や保育事業者へ再委託し、講師は各運営先が派遣している。講座内容は保育士としての専門知識や保護者対応、応急手当など保育現場で役立つプログラム構成になっている。特に「再就職した保育士の体験談」として潜在保育士から復職した保育士の講話は、受講者のロールモデルとなる人物の体験談であり、復帰に至った経緯や、復帰後の心境など、戸惑いや悩みなどを率直に語ることで、説得力のある内容となっている。各講座には託児室を設け、事前申込制で最大 4 人とし、無料で利用できる。参加者からは好評を得ている。平成 23 年度から平成 26 年度 11 月までに計 780 人

が参加した（平成 23 年度：174 人、平成 24 年度：194 人、平成 25 年度：270 人、平成 26 年度～11 月：142 人）。

【保育士就職支援セミナー 平成 26 年度 第 1 回 足立区会場 プログラム】

日程	時間	内容
7 月 14 日 (月)	9:30～10:00	オリエンテーション(事務説明、自己紹介など)
	10:00～12:15	家庭支援・保護者とのコミュニケーション
	13:15～15:30	子供の発達と保育
7 月 15 日 (火)	10:00～12:15	乳幼児を引き付ける遊びの技術
	13:15～15:30	危機管理・事故防止・応急手当
	15:30～16:00	再就職した保育士の体験談
7 月 16 日 (水)	9:30～11:45	子供の食と栄養
	12:45～15:00	保育制度と保育内容
	15:00～15:30	就職活動について
	15:30～16:00	実習打ち合わせ(実習希望者のみ)

(4) 保育士就職支援研修・就職相談会の実施

平成 26 年度はセンター、東京都及び開催地区行政との共催で 9 月から翌年 1 月にかけて都内 6 地域で開催した。会場は大田区、中野区、立川市、足立区、調布市、八王子市内のいずれも主要駅からアクセスのよい立地に位置するホール、会館である。就職支援研修会は 10 時～14 時 30 分の開催（定員 100 人）で保育指針の講義や所長による保育事情の講義、過去に同相談会を通じて再就職した現職保育士の体験談が実施される。就職相談会は 14 時 30 分～16 時に開催（定員なし）、開催地区と近隣地区の保育所がブ

ースを設け、相談ができる。開催地区及び協力地区の決定に際しては、東京都が各自治体に対して事前にアンケート調査を行った結果に基づいている。地域性に特化することで、潜在保育士の掘り起こしとして有効な対策となっている。

【就職相談会の様子 HPより転載】



(5) 保育実習研修

保育実習研修は保育士就職支援セミナーとセットでの申し込み方法となっているため、委託運営となる。定員は各回10人とし、保育士就職支援セミナーの開催地域付近の保育所（認可保育所、認証保育所）で実施され、期間は2～3日間である。時間は実施先によって異なるが、概ね9時～16時または8時15分～16時であり、10時15分～18時の遅番時間帯での指定実習もある。実習内容は1日目：オリエンテーション（保育所内説明、保育所の一日の流れ）、2日目：保育実習（調乳、授乳、おむつ交換、食事介助、遊び、読み聞かせ、保護者とのコミュニケーション）、3日目：保育実習（連絡帳の記入、先輩職員の体験談、清掃、実習報告書の作成等）である。平成23年度から平成26年度11月までの参加者数

は計235人に上る（平成23年度：92人、平成24年度：63人、平成25年度：61人、平成26年度（～11月）：19人）。

(6) 保育事業者セミナーの実施

保育事業者を対象として、現役保育士の離職防止策や就労定着策、多様な就労希望を持つ潜在保育士の活用方法など、円滑な保育施設運営を行うためのノウハウを伝えるセミナーを年2回ほど実施している。平成26年度第1回は東京労働局及び都内ハローワーク、東京都との共催で、保育分野における雇用管理の改善を目的とした採用と定着に関する取組を講話した。潜在保育士の多くが育児・家事との両立を懸念して現場復帰をためらう現状から、事業者が助成金を活用することによって積極的に人材を雇用する意識改革の促進を図る。区部、市部の2会場で実施し、計101

【「魅力ある職場づくりキャンペーン」保育事業者セミナー平成26年度実施プログラム】

月 日	場 所	時間	参加事業者数	内 容
10月21日 (火)	(立川会場) 立川公共職業安定所	13:30 ～ 15:30	31	①東京都保育人材・保育所支援センターの取組み ②東京労働局・ハローワークにおけるマッチング支援の取組み
10月24日 (金)	(新宿会場) 東京新卒応援ハローワーク 出会うのフロア		70	③人材育成・雇用管理改善に係る助成金について ④仕事と子育ての両立に係る助成金について 個別相談(各助成金の詳細、求人相談等)

事業者が参加した（平成27年2月にセンター単独による別内容で実施予定）。

2 センター運営の特徴・工夫点

都内各地を会場として開催されるセミナーと就職相談会の運営である。都内広域にわたる不特定多数の潜在保育士に向けて、保育現場への就労を促すきっかけとなっている。さらに委託運営先である民間の専門教育訓練機関が企画・運営することにより、地域によって異なる求職者のニーズを活かした実施内容となっている。

3 センター運営の実績

センター運営事業における保育人材全般の実績（保育所への求人・求職・紹介・採用に限定）は平成25年度～平成26年度9月にかけて新規求人件数：1,757件（うち保育士：1,447件）、新規求職者数：645人（うち保育士499人）、紹介件数：109件、採用者数：158件であった（紹介件数より就職件数が多いのは、紹介状による採用数に加え求職者が各自で『福祉のお仕事』より応募用紙を出力して応募、採用された数を含むため）。

【東京都保育人材・保育所支援センター実績（）は保育所保育士の求人・求職数】

年度	新規求人件数	新規求職者数	紹介件数	採用者数
平成25年度	1,090 (889)	445 (345)	73	144
平成26年度 (～9月)	667 (558)	200 (154)	36	14
合計	1,757 (1,447)	645 (499)	109	158

4 センター運営の課題

課題は以下の4点が挙げられている。

- ・潜在保育士の掘り起こし（潜在保育士の把握）
- ・センター認知度の向上
- ・関係機関との連携
- ・求職者のニーズに沿った丁寧な（長期的な）相談支援

対策の一例としてセンター認知度の向上を含めた広報周知を行っている。高校生を対象とした職場体験を実施するなど保育士の職業的アピールを進め、幅広い年齢層に向けた取組を進めている。各機関との連携、個人の状況に寄り添った支援とフォローアップによってさらなる支援の充実を図る方針である。

【保育士就職セミナー参加者アンケート】（一部引用、文言修正）

- ① 約30年のブランクの後、パートで保育士の仕事をしたいと考え相談会・セミナーを受講しました。現在の保育をとりまく社会状況や実情を知ることができ、今後仕事をする上で大変勉強になりました。私のような潜在保育士はいるはずです。その力を活用して未来ある子供を育てるためにもこのようなセミナーは重要と考えます。現在私も就活中です。
- ② 子育て中のため、不安な気持ちがあり、仕事と家庭の両立に迷いましたが、おかげさまで実習を通し自信が付き復帰できました。
- ③ 再就職に当たって非常に有用なものであり、実習の機会も得られたことは有難かった。就職活動の際に、ハローワークで持っている情報と共有されていると、仕事探しがよりスムーズにできたかと思うが、支援の仕方（求職者に対する対応など）はハローワークよりも良い印象で相談しやすく、気軽に足を運べた。

求職相談者が再就職するまで根気強く相談に応じ、可能な限り求人側とコミットする体制づくりに努めている。

(2) 再就職支援研修の実施

保育士として就業の定着と能力の育成を目的とした講座を開催している。平成 25 年度はセンターの企画で 2 回実施した。第 1 回の研修では「ストレスマネジメント」について「職場で実践してみる」という声が聞かれた。労働法規の研修は平成 25 年の 7 月～8 月に雇用に関する相談が寄せら

【再就職支援研修会 平成 25 年度実施プログラム】

研修会	主催・共催・後援	時間	研修内容 (講義・講演／講師)	人数・参加者 (内訳)
第 1 回 再就職支援研修会 平成 26 年 1 月 17 日(金) 富山県社会福祉総合会館(サンシップとやま)	主催:①富山県、②保育士・保育所支援センター 共催:①富山県保育連絡協議会 後援:①富山労働局、②公共職業安定所(ハローワーク)、③富山県社会福祉法人経営者協議会、④富山県民間保育連盟、⑤富山県保育士会	9:40 ～ 11:10	講義①『保育士としていきいき働くためのストレスマネジメント』 ／臨床心理士	31人 (潜在保育士3人、平成25年度紹介採用保育士16人、資格取得中1人、就業1～3年未満の保育士10人、保育士会1人)
		11:25 ～ 12:45	グループ討議『日々の保育にお役立ち 保育所保育指針のポイント』 ／保育士養成施設幼児教育学科教授	
		13:30 ～ 14:45	講義②『知っておきたい労働法のポイント』 ／社会保険労務士	
		15:00 ～ 16:30	講演『保育士がいきいき働く保育園について考える』 ／保育園を考える親の会代表	40人 (保育所関係者30人、養成施設職員4人、学生6人)

研修会	主催・共催・後援	時間	研修内容 (講義・講演／講師)	人数・参加者 (内訳)
第 2 回 再就職支援研修会 平成 26 年 3 月 18 日(火) 富山県社会福祉総合会館(サンシップとやま)	主催:①富山県、②社会福祉法人富山県社会福祉協議会 共催:①富山労働局、②公共職業安定所(ハローワーク)、③富山県保育連絡協議会 後援:①富山県社会福祉法人経営者協議会、②富山県民間保育連盟、③富山県保育士会	13:30 ～ 16:30	テーマ『保育士の質向上と定着をめざして！ ～モデル行動を活用した人材育成！ その秘訣とは？～』 ①人事育成・職員の何を育成するのか？ ②これからは、人間力が差別化の決め手！ ③人間力を向上するためには.. ④「日本一笑顔に溢れた保育園」を掲げて蘇生した保育園 ⑤人間力を高める具体的なノウハウ”モデル行動”とは？ ⑥モデル行動の活用法 ⑦人が定着する組織づくり ⑧質疑応答 ／経営コンサルタント	30人 (社会福祉法人理事長、保育所(園)長、人事担当者等)

れていたことから取り入れた。労働条件に関して興味関心は持ちながらも、専門的な講話を聴く機会のなかった参加者からは、役に立つ内容であると好評であった。グループ討論では参加者同士が意見交換することでコミュニケーションの向上を図ることができた。講演は『保護者から見た保育士』というテーマで、子どもを預ける親たちは保育士に対してどのような思いを抱いているのかを講話し「保護者の率直な考えが聞けて嬉しかった」との声が寄せられた。

(3) 就業体験の実施

実技研修に代わるものとして、就業体験を実施している。平成 26 年 9 月までの実施分を含め、県内保育所へ保育士有資格者 8 人、保育士資格取得中 3 人の計 11 人が参加した。期間は 1 日体験が 6 回、3 日間体験が 5 回であった。なお、研修先へ潜在保育士が 4 人就職した。就職を希望する保育所への見学は平成 26 年 9 月まで 108 件あった。見学を体験した復職者の声に「支援センターの相談員の方や園長先生、保育士の皆さんにも背中を押してもらったことが復帰につながった」というものがあり所長、同僚となる保育士と話す機会があったことが就業復帰への後押しとなっている。

(4) 就職相談会の実施

実施に当たっては富山県健康福祉人材センターの全職員で対応している。職場説明会は看護、福祉関係との合同開催であるが、保育関連団体 2 団体を含む連携機関は 10 団体に上る。富山県保育士会はセンターと同じ建物（サンシップとやま）にあり、センターの運営に関わる相談等、協力関係を築きやすい。

(5) 求人・求職登録

求人・求職登録（保育士・看護師・栄養士・調理師）は『福祉のお仕事』（福祉人材センターが運営する Web システム）を活用しておりセンター開設と同時期の平成 25 年 6 月から

開始している。求人側は事業所のマイページから求人票を登録し、富山県健康・福祉人材センターで内容をチェックした後、承認をする。平成 25 年から実施しているスカウトサービスは求人票を出した保育所に求職者の情報（氏名、住所等の個人情報を除く）を公開し、採用したい人材についてセンターに照会するサービスである。求職者側はセンターに来所し、窓口で筆記した内容を職員が打ち込み登録完了となる。

2 センター運営の特徴・工夫点

センターの運営主体である県社会福祉協議会が関係を構築してきた保育関係団体との連携がセンター運営の大きな特徴

健康・福祉人材センター	保育関係団体
福祉人材センターのシステム活用：求人・求職の登録/求職者情報の提供(各保育所のEメール配信) イベント時の全職員対応 「福祉とやま」(隔月発行)への記事掲載	保育連絡協議会：職場説明会の後援、研修会の共催 民間保育連盟：職場説明会主催、研修会の後援 富山県保育士会：広報誌、研修ノートでのセンター紹介
労働局・ハローワーク	養成施設
広報活動(リーフレット配布/ポスター掲示) 保育士資格者へのセンター来所の勧奨 職場説明会におけるハローワーク相談コーナーへの相談員派遣	週1回求人票を送付して情報提供を行う 訪問による学生の求職登録依頼、求人状況・内容についての情報収集 登録学生のマッチング

である。富山県民間保育連盟とは職場説明会、富山県保育連絡協議会とは研修会において共催・後援の協力関係にあり、富山県保育士会は広報誌や研修ノートでセンターの紹介記事を掲載している。さらにセンターと同じ建物（サンシップとやま）内にある立地条件も円滑な協力関係に大きな役割を果たしている。

3 センター運営の実績

センター運営事業の実績として平成 25 年度（7 月～）の就職決定者が 87 人、平成 26 年度（～9 月）17 人、累計 104 人だった。同時期の紹介者 123 人との採用率は 85% となり、高い割合で就職に結びついている。

【保育士の採用者数：平成 25 年度 7 月～平成 26 年度 9 月 カッコ内紹介者数】

年度	潜在保育士	現役保育士		保育士資格無	学生	合計
		公立	私立			
平成 25 年度	32 (32)	1 (3)	11 (13)	3 (3)	40 (55)	87 (106)
平成 26 年度	17 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (17)
合計	49 (49)	1 (3)	11 (13)	3 (3)	40 (55)	104 (123)

4 センター運営の課題

以下の 3 点が運営上の課題として挙げられた。

- (1) 保育所側が求める労働条件と保育士自身が希望する待遇や働き方の違い

(2) ブランクのある方の再就職の難しさ

(3) 人材の育成、定着に対する保育所側の意識改革

(1) に関して保育所はフルタイム勤務者を採用したいと考えているが、求職者の多くはパート勤務を希望している。(2) は保育士の多くが、過去の勤務環境とのギャップに悩み、復職に踏み出せないでいる。(3) は保育所における保育士の育成や定着のためには、意識改革を促進する取組が必要となっている。センターは現代の保育環境を踏まえ、保育士と保育所が抱える問題に対してフォローする役割が求められている。

【センター利用者の声】（「福祉とやま2013年11月号」より一部引用）

① 潜在保育士から復職した方

県外の幼稚園で 2 年、保育所で 2 年働きました。富山での仕事は初めてでしたが、支援センターの開設を知り、「ここに行けばなんとかなる」と思いました。支援センターでは条件に見合った保育園の情報を得ることができ、見学もさせてもらいました。仕事を探すのであれば、いろんなところを見るといいですね。見学に気軽に応じてもらえますし、自分に合った保育所との出会いがきっとあると思います。

② センターを利用した保育所所長

せっかく資格を取っても、保育士にならなかった方、結婚や出産など生活環境が変わって辞められた方、そういう方たちの中で、もう一度やってみようという方がいるとすごくうれしいし、助かります。

4 滋賀県保育士・保育所支援センター

滋賀県保育士・保育所支援センター（以下センター）は滋賀県と大津市が一般社団法人滋賀県保育協議会（以下保育協議会）に委託運営している。センターの開設は平成25年4月1日であるが、保育協議会は、滋賀県と大津市の委託により、平成21年12月1日から無料職業紹介事業として「保育人材バンク事業」を運営していた。「保育人材バンク事業」において保育士の就業支援に早くから取り組んでいたことがセンター運営の受託につながった。センターの職員は保育士有資格者を含む3人が配置されている。開所時間は月曜日～金曜日の9時～12時、13時～16時である。

1 センターの取組内容

「保育人材バンク事業」の事業内容は求人・求職登録による就職の紹介・あっせん、情報提供、再就職支援研修、出張登録相談会の実施である。センターは「保育人材バンク事業」を包括的に運営するほか、就職説明会（就職フェア）、就業継続支援研修の実施、保育士支援相談員による相談窓口を開設している。センターの情報誌「アルカンシエル」を年2～3回発行し、センター業務の周知にも取り組んでいる。

(1) 保育人材バンク事業

保育人材バンク事業は保育所である事業者と求職者の双

方がセンターに登録し、求人票に基づいて求職者の希望に添った求人案件が紹介されるシステムである（取り扱い職種は下表参照）。平成21年からの累計登録者数は保育士593人、そのうち求職者（すぐの就職を希望）は401人に上る（平成26年8月末時点）。登録は来所、メール、電話で対応する。登録期間は3年であり自動更新はされない。平成25年度は保育士の職種での登録者は105人、他の職種を含む登録者数136人のうちの77%となる。事業所側には保育士人材の採用活動に際してセンターを利用する意識の浸透がみられる。

【平成25年度 登録者数・求人数の状況】

職種	登録者数	求職者数	求人件数	求人数
保育士	105	95	147	500
看護師	4	3	7	12
栄養士	16	13	2	2
調理師	10	12	3	3
保健師	1	0	0	0
合計	136	123	159	517

(2) 就職説明会

就職説明会（就職フェア）は公立・私立の保育所が参加し、平成25年9月と平成26年2月に県南部で開催された。平成

25年9月は39ブース117保育所が出展し、205人の求職者が参加した。平成26年2月の開催は、午前に説明会、午後面接会の2部構成で延べ39ブース116人の参加があった。これは保育士養成施設から「2月に就職が未決定の学生がいる」との声をを受けて実施されたもので、公共職業安定所と共催で実施した。さらに平成26年度は秋以降の就職活動シーズンへ向けて「2014 滋賀の保育所就職フェア」を県の北部と南部の2ヶ所で開催した。2日間に46ブース131保育所、211人の参加者があった

(3) 再就職支援研修会

再就職支援研修会は平成21年度から実施しており、平成26年度は5月～6月、10月に計8回実施した。こども園と保育所の所長、主任を講師として迎え、保育士未経験者を含む潜在保育士を対象とし、保育現場の最新状況を中心とし

【平成26年度 保育士再就職研修プログラム】

日時	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日
会場	大津市厚生会館		におの浜保育園	
研修内容	最新の保育事情・新保育所保育指針・保護者との連携	安全管理・緊急時の対応と応急手当・衛生管理と食	社会人としての心構え・コミュニケーション・遊びの技術	保育所見学
講師	こども園園長	保育所主任	保育所所長	
受講者数	10人	9人	9人	7人

た研修内容である。年度内に同じ講習を複数回実施することで、可能な限り多くの対象者が研修を受けられるよう工夫している。保育士として未就業の受講者からは「子どもたちとの関わりや注意点が聞けてよかった」、ブランクがある受講者からは「勤めていた頃との変化が事例を通じて知ることができて勉強になった」との声が聞かれた。

(4) 就業継続支援研修

就業継続支援研修は就業中の保育士を対象としたもの（フォローアップセミナー）と、保育士の採用に関わる人材担当者を対象としたもので内容が異なる。保育士を対象とした研修はヨガ体験や絵本の読み聞かせを通じて、保育士がリフレッシュする場を提供することを目的としている。平成25年度は計5回実施され、79人の参加があった。

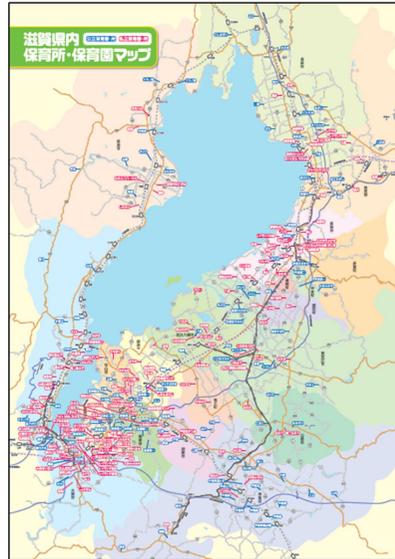
【フォローアップセミナー 読み聞かせの様子】



さらに継続就業のための労務者管理研修に力を入れている。平成26年7月に保育所所長や主任保育士を対象とし、草津市内で

「保育士マッチング大作戦フォーラム 本音で語ろう保育士不足の悩み 出し合おう知恵と工夫」を開催（センター、滋賀労働局、滋賀県の三機関の共催）し、50人の参加者があった。「保育士資格を取得しても保育現場に就職する人が少ないのはなぜか」「就職後一年で離職してしまうのはなぜか」といった保育士の雇用状況をテーマに基調講演とパネルディスカッション、グループトークの3部構成で「魅力ある保育所運営」について話し合われた。保育士養成施設、各市町、保育所、こども園での実情や課題について意見交換が行われ、人材育成の課題が挙げられた。参加者からは「大変貴重で、今までにない形での研修に参加できてよかった。今後もこのような企画を続けてほしい。」「保育士不足を、園の職員全体の責任として捉える一方、管理者は職員や実習生を大切に少しでも働きやすい職場にしていきたいと感じた。」など、好評を博した。申込者は定員の50人を超えたことから、現場におけるニーズの高さがうかがえる。

【滋賀県内 保育所・保育園マップ 県内の公立/私立の保育所・園が一覧できる】



(5) 出張登録・相談会

平成 23 年度より県内各地の市民センターやマザーズジョブステーションにおいて実施し、累計 152 人の登録があった。登録者の 72%にあたる 110 人がすぐに就職したい求職者であり、センターの外に出向き、広範に求職者の意向を把握する支援を実施している。

【労務管理者研修 配付資料】

<p>保育士不足にどう立ち向かうか 知恵と工夫で魅力ある保育所運営を考える 大原昭彦(滋賀大学 児童教育学部 大分実務)</p>	<p>③ 対話する関係性を育てる 新任保育者の危機的時期を考える。 …省察することで専門性に気づく。 (自分がいっぱい → 子どもが…) …気になる子どもを抱え込まない。 対話しながら皆で考える。</p>
<p>課題となること ① 環境の変化を考える …情報獲得・生活環境 ② 保育者の変化を考える …潜在的保育士発掘 …子育て支援員(案)との連携</p>	<p>④ 退職理由から考える ・職場の人間関係って…? ・子どもとの関係って…? ・保護者との関係って…?</p>

保育士不足にどう立ち向かうか
知恵と工夫で魅力ある保育所運営を考える
課題となること
①環境の変化を考える…情報獲得・生活環境
②保育者の変化を考える…潜在的保育士発掘
…子育て支援員(案)との連携
③対話する関係性を育てる
新任保育者の危機的時期を考える
…省察することで専門性に気づく。
(自分がいっぱい→子どもが…)
…気になる子どもを抱え込まない。
対話しながら皆で考える。
④退職理由から考える
・職場の人間関係って…?
・子どもとの関係って…?
・保護者との関係って…?

(6) 保育士支援相談員による相談窓口

平成 25 年度より 保育士支援相談員を配置し、保育所に勤務する上での悩み相談を専用電話(ホットライン)にて受け付けている。平成 26 年から専用メールアドレスも設置した。平成 25 年度の相談件数：103 件（来所者：13 人、電話：86 件、メール：1 件、郵送ほか：3 件）、平成 26 年度～8 月末：94 件で、ブランクから復帰に際しての不安を持つ潜在保育士、勤務先の処遇に悩みを抱える現職保育士、就業して 1 年目の保育士などからの相談を受けた。センターは保育士の

メンタリティもサポートする役割を担っている。

(7) 情報誌の発行

滋賀県保育士・保育所支援センター情報誌として平成26年5月より「アルカンシエル」(仏語で虹の意)を年2～3回の予定で発行している。活動内容や事業計画を豊富な写真で紹介し、事業内容を宣伝すると共に、誌名のとおり潜在保育士と保育所の架け橋としてセンターの周知に努めている。

【アルカンシエル 創刊号】



2 センター運営の特徴・工夫点

センター運営を受託している保育協議会は県内の276認可保育所が加入しているため、運営に際して直接保育現場と連携することができる。保育現場の現状分析や対策を講じる際に連携を図り、支援事業を広範に実施することができる。

3 センター運営の実績

保育人材バンクの取組により、平成21年12月から平成26年8月末までに累計132人の保育士が再就労した。センター開設後の実績に限定すると、平成25年4月の開設から平成26年3月までに50枚の紹介状を発行し、保育士の採用数は36人、72%の採用率となっている。

【滋賀県保育人材バンク就労者 平成21年度12月～平成26年度8月末】

職種別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
保育士	9	19	25	33	36	10	132
看護師	0	0	1	2	1	0	4
栄養士	1	0	0	0	0	0	1
調理師	0	0	5	1	2	1	9
合計	10	19	31	36	39	11	146

4 センター運営の課題

センターの広報周知を目的としたダイレクトメールの発送に際して、保育士登録の情報が活用できない。個人情報の観点から差し控えていると共に、氏人変更や住所変更があること、現在の就業状態が不明など、保育士登録内容をセンターの業務に使用するには調整が必要である。

5 広島県保育士人材バンク

広島県保育士人材バンク（以下人材バンク）は広島県健康福祉局 働く女性応援プロジェクト・チーム内に無料職業紹介事業として設置されている。広島県の直営として平成24年7月19日に開設した。保育士有資格者で就業経験もある保育士就業支援員を配置している。人材バンクで取り扱う職種は保育士、看護師、保健師、栄養士である。開所時間は月曜日～金曜日の8時30分～17時15分である。求職者に対する研修の実施は広島県保育連盟連合会（以下「県保連」）に委託し、就職相談会は広島市及び県保連など保育関係機関との共催である。県直営の利点を活かし、各機関と協力的な体制を築いている。

1 人材バンクの取組内容

主な業務内容は求人・求職者の募集と登録、相談業務、マッチング、求職者に対する研修と就職相談会の実施などである。求職者が勤務条件だけで就業先を決定するのではなく、「ここだったら就職したい」と保育所の方針や雰囲気共感し、継続して就労できるような環境を設定するように努めている。初年度に単独で開催した就職説明会は、人材バンク開設から約2年が経過した平成26年に広島市及び関係団体と共催し、参加者数の増加を図るなど取組内容の見直しを積極的に行っている。

なお、次回の開催においては労働局とも共催する予定である。

(1) 人材バンクの登録機能

求人・求職登録はホームページから手続きするか、人材バンクへ来所し、登録票に記入する。求職票には年収制限の希

【広島県保育士人材バンク ホームページの登録画面】

The screenshot shows the registration page for the Hiroshima Prefecture Childcare Worker Talent Bank. At the top, there is a header with the bank's name and logo. Below the header, there are navigation buttons for '求職登録' (Job Registration), '求人登録' (Job Posting), '求人情報検索' (Job Information Search), and '研修・お知らせ' (Training & News). The main content area is divided into two columns. The left column is for existing users, with a 'ログイン' (Login) button. The right column is for new users, with a '新規登録' (New Registration) button. There are also links for downloading application forms (PDF) and examples (PDF).

広島県無料職業紹介所
広島県保育士人材バンク

広島県保育士人材バンク
〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52
広島県健康福祉局働く女性応援PT内
TEL 082-227-3090(直通)

トップ 求職登録 求人登録 求人情報検索 研修・お知らせ

☑ 求職登録

既に登録されている方は、
内容を確認又は編集する
紹介期限を更新する

新しく登録される方は、

広島県保育士人材バンクへの登録を希望する方は、
利用規約をお読みいただき、内容に同意の上で
新規登録を行ってください。

利用規約を読む

利用規約に同意して新規登録

登録票のアクセスIDを入力し、ログインしてください。
パスワードを忘れた方は、広島県保育士人材バンクまで
お電話ください。

ログイン

求職登録ができない場合には、以下のファイルを印刷し、
郵送又はFAXによりご提出ください。
求職登録票(PDF)
求職登録票(記入例)(PDF)

利用の流れ

望有無と「年収～万円以下を希望する」という項目があり、「※扶養控除等の関係で年収に制限を掛けたいときはご記入ください」との注意書きがある。育児や家事により短時間勤務を希望する割合の多い潜在保育士の状況を考慮している。同じ事業所が条件の異なる求人案内を出す場合は、4件まで登録することが可能である。平成26年9月の時点で求職人数163人、求人件数248件、求人募集人数519人であった。

【働く女性応援PT入口の看板】



(2) マッチングの実施

登録の通知を受け取ると、保育士就業支援員が求職・求人登録を照会する。勤務条件で調整可能なものがあるか、保育士就業支援員が双方に連絡し、条件のすり合わせを行う。条件が合えば連絡の上、面接日を調整する。採用・不採用の決定の通知（連絡）に関しては保育所から求職者への通知期間を設け、可能な限り期限内（臨時雇用：3～4日、正規雇用：1～2週間）に連絡することを保育所に依頼している。求職者は午前中の4時間勤務（8時～12時、8時30分～12時30分）の臨時雇用希望が多く、保育所が必要としているフルタイムの保育士有資格者の人員が乏しい。なお、人材バンク発足当初の就業支援対象者の割合は潜在保育士が多数を占めていたが、現在は現職保育士の割合が増えつつある。

(3) 研修の実施

研修は講座研修と実技研修を県保連に委託運営している。講座研修（保育士就職支援セミナー）は平成24年から継続実施しており、人材バンクの登録者を対象とし、保育士専門職としての知識と技術の習得を目指している。平成24年度は6回、平成25年度以降は各1回開催した。

【保育士就職支援セミナーの参加者数 ※実施内容は平成26年度開催プログラム】

年度	月日	場所	時間	内容	参加者	参加者合計
平成24年度	8月20日(木)	広島県健康福祉センター	9:30～15:30	(参考)平成26年度プログラム	15	58
	9月25日(火)			講義「子どもの育ち」	7	
	10月30日(火)			講義と質疑「保育所ってどんなところ」	12	
	11月29日(木)			・子どもたちの遊び	10	
	1月31日(木)			・子どものつぶやき	8	
	3月7日(木)			・保育現場で起こる今どきの問題	6	
平成25年度	2月28日(木)			講師：市立大学支援センター特任教員	21	21
平成26年度	10月24日(金)			アドバイザー：県内保育所長4人	16	16

実技研修は保育現場での感覚を取り戻す目的から県内保育所の受け入れ可能な保育所において実施されている。これまでに23人（平成24年度：9人、平成25年度：10人、平成26年度～8月末：4人）が参加した。実習期間は保育所と参

加者の調整の上、1日～1週間となっている。要相談であるが、実習先を選択することができる上に、有給で参加¹することができるのは参加者にとって大きなメリットとなっている。

(4) 就職説明会の実施

就職説明会は平成25年度から年2回、2会場で実施された。研修と同様、県保連に委託運営している。平成26年度は「保育士就職ナビひろしま2014～保育士就職相談会～」と題して開催された。6月22日の広島会場には153施設、535人が参加し、前年度の同会場開催と年度別の比較で3倍の増員になっている。大幅に増員した理由として広島市及び関係団体との合同開催により、広報周知が行き渡ったことが大きな要因である。また、この日参加していた潜在保育士18人が人材バンクへ登録した。

【就職説明会の参加数 平成25年度～平成26年度】

年度	月日	場所	ブース数	参加人数	合計人数
平成25年度	9月14日(土)	福山市内	39	28	206
	9月21日(土)	広島市内	52	178	
平成26年度	6月15日(土)	福山市内	59	246	781
	6月22日(土)	広島市内	153	535	
合計			303	987	

(5) 相談業務

相談業務は電話相談と来所相談があり、いずれも増加傾向にある。相談内容は求職者からはブランクに対する不安、現職保育士からは職場の人間関係などが寄せられている。相談業務の連携としては「しごとプラザ マザーズひろしま」に設置されている以下の施設と協力関係にある。業務委託している「わーくわくママサポートコーナー」では就職準備に際して利用可能な保育所情報の提供、「マザーズハローワーク広島」では求人情報検索の利用など就職への意欲と機会を逸することのないよう幅広い対応を行っている。

【相談件数 平成24年度7月～平成26年度(～5月)】

年度	電話相談件数	来所相談件数
平成24年度(7月～)	1,207	31
平成25年度	2,594	25
平成26年度(～5月)	475	12
合計	4,276	68

2 人材バンク運営の特徴・工夫点

ハローワークとの差別化を図る取組として、求職者ひとりに対し、1件の求人を紹介し、採否の結果を待って次を紹介している。保育所に依頼している採否の連絡期間設定の対応（1-

¹ 県保連への運営委託料から支払われ、金額は参加者の経験年数及び受入保育所の賃金等を考慮し、受入保育所が決定する。

(2) と共に、求職者と求人者双方の信頼関係を大切にする方針の下、マッチングが行われている。さらに保育士経験者であり、保育現場の実情に詳しい保育士就業支援員の親身な相談対応も、継続的な就労環境を見つける取組として重要な点である。

もう一点の特徴は、就職説明会で配布した参加保育所の紹介冊子『参加保育所 保育園の紹介・施設の紹介一覧』の掲載情報である。平成26年6月 **【就職相談会 配布冊子】**

22日開催に際して作成した冊子には、参加保育所の連絡先一覧と、①個別保育所の施設紹介、②勤務条件例（1年目）、③求人などの状況が記載されている。②勤務条件例は「正規職員」「臨時職員 ※常勤の場合」に給与や諸手当（賞与、年〇回、〇か月分）を任意で記入するようになっており、求職者への情報公開が進んでいる。



3 人材バンク運営事業の実績

人材バンク運営事業の実績として、開設から平成26年5月末までの紹介人数257人のうち就職者が204人と79%が採用に結びついている。さらに就職人数に限定すると、平成26年9月末の時点で259人と4ヶ月で55人増えている。着実な成果は、開設から4千件超の相談を受けた対応が積み重なった結果でもある。幅広く多様な就業支援によって事業が効果的に運営されている。

【就業あっせん状況(平成24年度7月～平成26年度5月)】

年度	求人登録数	求職登録数	紹介人数	就職人数
平成24年度(7月～)	479	327	82	65
平成25年度	405	253	132	103
平成26年度(～5月)	37	59	43	36
合計	921	639	257	204

4 人材バンク運営の課題

課題としては、求職者、求人者への周知方法が挙げられる。ハローワークに較べて知名度では劣るため、求職活動もしくは求人情報の掲載に関して広報を通じて人材バンクの利用を呼びかけていくことが重要となる。

6 香川県保育士人材バンク

香川県保育士人材バンク（以下人材バンク）は香川県が社会福祉法人香川県社会福祉協議会（以下県社会福祉協議会）に委託運営し、平成25年8月1日に開設した。県社会福祉協議会は無料職業紹介事業の許可を得て運営を実施している。開所時間は月曜日～金曜日の9時～17時、第4土曜日の13～17時であり、コーディネーター1人を配置している。香川県緊急雇用創出基金事業の一環で運営されている「かがわ潜在保育士支援事務局」と連携しながら、様々な支援を行っている。

1 人材バンクの取組内容

潜在保育士の就職・復職支援を中心として、保育士有資格者対象の就職あっせん、

【保育士就職相談会の様子】

相談業務を行っている。人材バンクを活用したマッチング、求人・求職登録、潜在保育士復職支援研修会の講座研修のほか、香川県主催の保育士就職相談会や福祉の職場説明



会へ積極的に参加している。人材バンク開設時には広報周知のため県内の保育士養成施設（大学、短大、専門学校）4ヶ所を訪問し、協力を要請した。「かがわ潜在保育士支援事務局」（県委託事業）と香川県、人材バンクの連携によりWeb『香川県保育士ガイド』（以下『保育士ガイド』）による情報周知の充実に力を入れ、研修等の情報提供やメール配信、アンケート調査などを行っている。

(1) マッチング

マッチングを行うコーディネーターは開設当初の平成25年8月から配置した。現職のコーディネーターは開設以降2人目の就任であり、保育士資格と幼稚園教諭免許を有する保育所勤務経験者である。人材バンクの開設当初から保育現場に精通した人物を採用する方針だった。コーディネーターは保育士の業務全般や処遇に関しても知識を求められ、相談業務だけでなく、マッチングの成否に大きな役割を担う。

人材バンクとしては「すぐに」就職する層をターゲットにしており、求職登録者には希望時期に応じて頻繁に連絡を取るようになっている。新規の求人情報に求職登録者の希望条件と合致するものがあれば、電話にて案内周知してから、メールまたは郵送で詳細を送付している。また一部の公立保育所のパートタイム求人に関しては、即時的な対応が求められる

ため、各保育所所長と連絡を取り、現場の意見を聞きながらマッチングを進めている。

(2) 求人・求職者登録機能

求人・求職の登録（保育士・看護師・事務員）は、人材バンクの開設に先立ち平成 25 年 6 月から開始した。登録方法は窓口での受付と人材バンクを支援する『保育士ガイド』の登録ページから可能である。『保育士ガイド』は全国社会福

【香川県保育士ガイド 登録機能画面 「福祉のお仕事」と連携している】

1 まずは登録してください。

登録できる人	登録方法
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>保育士資格を保有</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>保育園(所)への就職を希望</p> </div> </div> <p style="font-size: small;">保育園(所)への就職・転職をお考えの方や看護師の方も是非登録をお願いします。</p>	<p>登録は2種類の方法から行えます。</p> <div style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">WEB上の登録</div> <div style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">窓口での登録</div>
<p>求人者</p> <p>県内の市町立保育所や私立の保育園です。</p>	
<p>勤務形態</p> <p>正規・臨時・パートと多様ですので、希望する働き方を選べます。</p>	

2 専任のコーディネーターが求人情報の提供や就職先を紹介します。

登録者と保育園(所)双方のニーズを結びつけ、紹介状をお出します。何でもご相談下さい。

就職に向けた支援

復職の不安を解消する研修会を行います。

プランクのある方や実務経験が少ない方の不安を解消してもらうため研修会を開催します。

採用担当者と面談できる「就職相談会」にも参加できます。

県が主催する就職相談会で一度に多くの保育園(所)と面談ができます。

参加費無料



祉協議会が運営する『福祉のお仕事』(福祉分野の求人情報 Web システム) の機能と連動している。平成 26 年 9 月時点で登録人数は 243 人、登録事業所数は 34 事業所である。また香川県が主催する保育士就職相談会（後述 (3)）に人材バンクのブースを設け、広報周知と共にコーディネーターが登録を受け付け、県内において出張登録会を開催している。

(3) 保育士就職相談会の参加

平成 23 年度より香川県が県内の市町、労働局、保育関係団体と連携し、保育士有資格者へ向けた就職相談会を開催して

【就職相談会の実施状況 参加者の約 1 割が採用に至っている】

年度	月日	場 所	参加 保育所	参加 者	採用
平成 23 年度	7 月 29 日(金)	ハローワーク 高松・丸亀	/	49	5
	1 月 8 日(日)	県立文書館		41	5
平成 24 年度	7 月 26 日(木)	観音寺市立 中央図書館	9	9	0
	7 月 27 日(金)	県立文書館	12	35	4
	11 月 21 日(水)	県立文書館	19	25	5
平成 25 年度	7 月 12 日(木)	県立文書館	10	27	4
	7 月 13 日(金)	丸亀市民会館	11	18	3
	11 月 12 日(火)	県立文書館	16	18	2
平成 26 年度	7 月 17 日(木)	県立文書館	16	24	1
	7 月 18 日(金)	丸亀市民会館	10	5	0
合 計			103	251	29

いる。求職者と保育所にとって、業務内容の問い合わせや勤務条件の調整が直接交渉できる貴重な機会となっている。人材バンク開設以前の平成 23 年度から開催し、これまでに 251 人の求職者、103 の事業所が参加し、累計 29 人の採用者が出ている。

(4) 潜在保育士復職支援研修の実施

講座研修は平成 25 年度に 2 回、平成 26 年度は計 4 回実施した。配慮の必要な子どもの保育や連絡帳の書き方といった実践的な講習内容は、ブランクのある保育士だけでなく、初めて保育現場で働く求職者にとっても役立つ知識である。平成 26 年度は、研修会と併せて参加者に対する求職登録と個別の就職相談会（1 時間～1 時間半）を設け、研修の機会を有効活用して登録者の増加に努めた。

2 人材バンク運営の特徴・工夫点

保育士の就職・復職支援事業をバックアップする「かがわ潜在保育士支援事務局」との協力体制の下、人材バンクの支援と広報周知を担う『保育士ガイド』において各保育所の情報・求人情報を届けるメルマガ、Facebook、Twitter などによる県内の保育所の紹介、現職保育士の声を YouTube で届けるサービス等を情報発信している。潜在保育士から復職した方々の体験談は多様なモデルケースが紹介され、コラム「復職のための知識」と共に復帰に迷う潜在保育士の背中を押す内容となっている。

3 人材バンク運営の実績

人材バンクからの採用数は 37 人に上る（採用比率：平成 25 年度 77%、平成 26 年度 9 月時点 100%）。さらに保育士就職相談会（1-（3））における採用数 29 人を加算すると、重複を推量しても 60 人前後の採用数が出ている。連携機関との協力体制において着実な成果を築いている。

【香川県保育士ガイド トップページ】

お問い合わせはこちらまで
087-822-3135
まずはお気軽にお問い合わせください。

ホーム 保育士ガイドとは 求職登録 お仕事を探す 研修会 保育士さんの声 保育園ご紹介 コラム 復職のための知識

もう一度！
保育のお仕事してみませんか？
潜在保育士さんの復職支援を行っています。

求職登録はこちらから

保育のお仕事はここから検索!!

エリアから探す
雇用形態
フリーワード

検索

最新更新日2014/10/27新着UP

4 人材バンク運営の課題

県内の事業所、求職者に向けて広報周知が行き渡っておらず、人材バンクの知名度が低いことが挙げられる。求職者のニーズに応えられるほどの求人情報が集まらず、採用数が伸び悩んでいる。

【保育士人材バンクを通じての就職者の概要 平成25年度～平成26年度9月】

年齢	人数	就職先内訳		雇用形態
20～25	4	公立	3	常勤：2/パート：1
		私立	1	パート：1
26～30	7	公立	2	パート：2
		私立	5	正規：1/常勤：1/パート：3
31～35	5	公立	3	パート：3
		私立	2	常勤：1/パート：1
36～40	7	公立	4	常勤：1/パート：3
		私立	3	常勤：1/パート：2
41～45	8	公立	6	常勤：1/パート：5
		私立	2	常勤：1/パート：1
46～50	3	公立	1	常勤：1
		私立	2	正規：1/パート：1
51～55	2	公立	1	パート：1
		私立	1	常勤：1
61～65	1	私立	1	常勤：1
合計	37	公立	20	正規：2 常勤：11
		私立	17	パート：24

【人材バンク利用者の声】（「保育士ガイド」より一部引用）

① 復職後の勤務先は「保育士の就職相談会」に参加して知りました。幼稚園児の子どもがいるので、家から近く、送迎に便利だったことが一番の理由です。毎日の生活に「はり」が出たので、復帰して良かったと思います。私の場合は、10年近く現場を離れていました。もう一度、保育士として働くことに不安もありましたが、やっぱり保育士の仕事はステキだなと改めて感じています。

② 自分に子どもができて、沢山の子どもと触れ合うことで子育てを学べると思っていた時に、高松の広報で【香川県保育士人材バンク】を知りました。保育士に復帰したいという気持ちがあったので登録し、タイミングよくこの保育所を紹介して頂き現場復帰することになりました。毎日癒やされて働くことができ、家での笑顔も増えました。

7 福岡県保育士・保育所支援センター

福岡県保育士就職支援センター（以下センター）は福岡県から公益社団法人福岡県保育協会（以下保育協会）に委託運営されている。無料職業紹介所として平成25年7月1日に開設し、保育協会職員は8人、うち2人がセンターのコーディネーターとして配置されている。コーディネーターは保育所所長経験者とハローワークの嘱託相談員経験者である。2人のコーディネーターのうち、1人はセンター業務の強化のため、平成26年5月から新規で採用した。センターは福岡県総合福祉センター（クローバープラザ）内の保育協会の一角で開所しており、開所時間は月曜日～金曜日の9時～17時である。センターの運営に関しては保育協会の主導の下、福岡県福祉労働部子育て支援課と随時連携を取りながら業務を推進している。

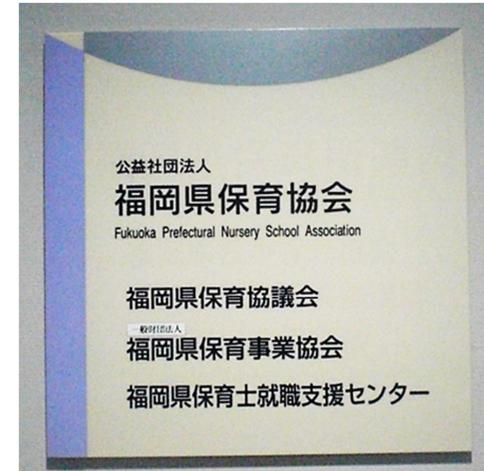
1 センターの取組内容

センターの主な業務は求職・求人登録、相談業務、保育所の紹介・あっせん、県内ハローワークでの出張相談、保育士養成施設の学生への就業支援等である。保育協会が受託運営している利点を活かし、県内の保育施設に対して、潜在保育士をはじめとした保育士有資格者（見込者含む）の就労に関する支援全般に取り組んでいる。保育協会は県内の2市（北九州市・福

岡市）を除いた537の認可保育所（公立：110、私立：427）で構成されている（平成26年4月時点）。

保育協会では、「保育士・保育所支援センター事業」に先がけ、平成23年度より潜在保育士研修を福岡県から業務受託して運営している。また平成26年度から県内のハローワークに赴き、出張相談会を実施するなどセンター業務の広報周知に積極的に取り組んでいる。

【福岡県保育士就職支援センターの入口看板
福岡県保育協会内に設置されている】



(1) 就職相談の実施

就職相談は定例実施と臨時実施を設定している。定例実施はセンター開設時に来所と電話で対応しているが、県内は広域なため電話による相談が多い。臨時実施は平成26年9月から福岡労働局の協力を得て、県内6地域のハローワークの会議室を会場として11回の出張相談会を実施している。ハローワークとは求人情報の共有など連携を進めており、求職者が双方の機関を利用できる体制づくりに努めている。

(2) マッチングの実施

センターでは保育士の求人・求職登録（保育士）を行い、コーディネーターがマッチングを行っている。平成 25 年度は求人登録 82 件（207 人募集）、求職登録 54 人、平成 26 年度 9 月時点は求人登録 73 件（178 人募集）、求職登録 24 人だった。求人登録をする事業所が多数に上るのは、保育協会が運営主体であることからセンターの事業内容に関する理解が得られやすいためと思われる。

マッチングは求職者の希望に合致する求人案件を紹介するほか、求人情報は保育協会のホームページに掲載されており、求職者が求人情報を閲覧し、検討、センターに連絡、紹介に至るようになっている。平成 27 年度以降の子ども・子育て支援新制度に関連し、幼稚園教諭経験者が求職登録する傾向がある。

採用に至った求職者には、適宜、コーディネーターが就職先に出向き、求職者から直接近況を聞くフォローアップを実施している。保育協会を通じた保育所との関係性を活用し、採用後の就労状況（サービスや保育への取組）の情報を得ることができるため、柔軟な対応を取ることができる態勢にある。

【センター内 面談実施スペース】



(3) 研修の実施

対象者の希望地域にある保育所において体験実習をする研修は、ブランクの不安や保育現場の未経験をフォローし、就業へ結びつける機会となっている。平成 23 年度から取り組んでいる「潜在保育士研修事業」は、福岡県が委託する関連事業として、保育協会が実施している。平成 23 年度、24 年度の研修内容は座学を中心とした保育所保育指針、倫理綱領と保育所体験実習であったが、平成 25 年度以降は保育所実習のみに変更され、保育士として迅速に現場復帰できるよう配慮したプログラムになった。

実習は定期実施と随時実施（日程希望可）とし、利便性を考慮している。定期実施は県内の 4 地方を実習地域とし、日時を限定した開催であり、随時実施は受講生の希望に応じて地域、日時を設定した運営である。10 時～15 時の 5 時間の実務で保育現場の業務や雰囲気を知ることが目的としている。離職中の受講者には現場復帰への動機付けとして「勘を取り戻す」契機となり、保育士未就業者には保育現場の実務を知る機会となっている。

実習者を受け入れた保育所は実習報告書を保育協会へ提出する。各保育所の提出書類から一部引用し、3 ページ左表に示した。施設見学、概要説明、保育補助、給食、園児との遊び、行事参加等を各保育所の実情に応じて実施している。実習者は 40 代前後の保育士経験者が大多数であり、実習後、3 割近くが現場復帰したとのことである。

【潜在保育士研修会 実施保育所(園)及び実習内容 平成25年度前期】

月日	実施施設	参加人数	実習内容
10月1日	青葉桐の花保育園	1	1、2歳児クラスに入り食事、排泄、睡眠、遊びの様子を観察しながら子どもと関わる
	青葉保育園	2	午前中に園の概要説明をし、クラスごとに見学/午後は園の保育内容説明
10月15日	若竹保育園	1	園長との談話後、1、2歳児クラスで外遊び・給食・午睡、5歳児クラスで外遊び、レクリエーション/園長、主任と感想会
10月16日	赤間保育園	1	園の概要説明後、全クラス見学/2歳児クラスで保育補助、生活補助
	篠山保育園	2	園の概要説明、実習にあたっての心構え/施設見学・簡単な反省会・求職登録への依頼
10月17日	いそどり真愛保育園	1	前年度にも参加していたため概要説明等は省略、参加者の希望するクラス(0歳児)に入り保育士体験
	原田保育園	1	概要説明(デイリープログラム・行事・開園時間等)、2歳児クラスにて見学実習
10月18日	開保育園	1	朝の集まり、園庭での避難訓練/年少クラス、他クラス見学
10月22日	コスモス保育園	1	年長クラスに入り、焼き芋大会の準備、開催
10月23日	タンポポ保育園	1	園の概要説明/0、1歳児クラスにて実習
	わらしこ保育園	1	実習説明、園の概要説明(園長)/各クラスの保育見学と説明(主任)/参加者希望による乳児保育室での実習/年長児クラスでの給食交流(配膳、食事、片づけ、食後の自由あそび)/感想

【保育士有資格者現場復帰促進研修会の実績】

年 度	実施箇所数	参加者数	再就職者数	就職率
平成23年度(座学・実習)	15	124	31	25.0%
平成24年度(座学・実習)	8	87	25	28.7%
平成25年度(実習のみ)	17	22	5	22.7%
合 計	40	233	61	26.2%

2 センター運営の特徴・工夫点

コーディネーターに保育所所長経験者を配置している強みを活かしたマッチングである。求職者に関して、若年層は正規職員希望が多いが、離職者を含む潜在保育士は非正規職員、パートタイム勤務の希望者が多い。コーディネーターは保育現場に精通しており、求職者と求人者に対する細やかな相談対応をし、勤務条件の調整を図っている。条件面の適切な調整が、高い採用割合に結びついている。工夫点としては、求職登録者の増加を目的とした他機関との連携を推進している。福岡県社会福祉協議会の「福祉の職場説明会」に相談窓口を設置し、相談活動を行っている。また、ハローワークにおける出張相談会の参加者や潜在保育士研修事業の受講者をセンターの利用者として勧奨する取組などを積極的に推進している。

3 センター運営の実績

センター運営事業の実績として、就職決定者は累計55人に

上る（平成25年度：43人、平成26年度（～9月）：12人）。採用割合として平成25年度は96%（紹介数：45件）、平成26年度は86%（紹介数：14件）といずれも高い確率で採用に至っている。

【登録数と採用数の状況 平成25年7月～平成26年9月】

年 度	求人登録者数		求職登録者数	紹介数	採用数
	保育所数	募集人数			
平成25年度(7月～)	82	207	54	45	43
平成26年度(～9月)	73	178	26	14	12
合 計	155	385	80	59	55

4 センター運営の課題

課題としては、求人登録件数に比較して求職登録件数が少ない点である。求人数に対して紹介、あっせんできる求職者が限定されるため、登録求人情報が滞留している。また、広報周知に関連し、県内でのセンター利用状況の地域間格差が大きい。都市部での需要が高いのは、その切実さを反映していると思われるが、県からの委託業務であることを鑑みると県内全域での事業周知によるセンター利用者の増加が求められる。

また、保育士養成施設に向けた事業協力や施策の設定に課題がある。保育士資格取得見込者を含む新規採用の学生に向けて、どのようにすればセンターを活用するかという点を踏まえ、養成施設に対する事業促進が必要とされる。

【福岡県保育協会のホームページ「就職支援案内」で福岡県保育士就職支援センターの事業案内をしている】



8 大阪市保育士・保育所支援センター

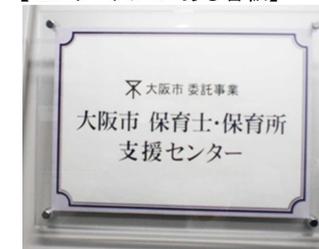
大阪市保育士・保育所支援センター（以下センター）は株式会社ニッソーネット（以下ニッソーネット）が大阪市から受託運営している。平成25年10月30日にニッソーネット社内の一角にセンターを開設して運営を開始し、9人の職員がセンターの運営を担当している（平成26年9月時点）。職員には保育士有資格者と保育士就職の専門コーディネーターに従事した経験のある者がいる。市内2ヶ所に設置されたセンター（梅田センター・阿倍野センター）の開所時間は日曜日～土曜日の9時～18時であり、コールセンターでは月曜日～土曜日は20時まで電話での問い合わせを受け付けている。大阪市こども青少年局保育施策部保育企画課と随時連携を図って運営しており、市内の保育士就職の支援促進と定着に取り組んでいる。

1 センターの取組内容

業務内容は就職相談、求人情報の提供、マッチング、保育所からの求人・人材活用に関する相談と助言、保育士再就職支援研修と実習の実施である。就職支援対象者の拡大にも取り組んでおり、潜在保育士の掘り起こし、近隣府県の保育士養成施設に向けた市内保育所の求人情報の提供とセンターのPR活動も行っている。ニッソーネットは受託以前から福祉分野を対象と

した人材サービス事業を展開しており、大阪市による保育士・保育所支援センターの委託事業者選定（企画提案方式）の公募に応じ、決定された。

【センター入口にある看板】



(1) センターの運営

センターの開所時間は、月曜日～金曜日は依頼に応じて最大19時まで対応し、土日も窓口を開けている。また、フリーダイヤルのコールセンターでは一部祝日の問い合わせにも応じている。ホームページでは求人情報の公開や研修・就職フェアの開催告知、センターを利用して潜在保育士から就職した経験者の談話などを紹介している。

【大阪市保育士・保育所支援センター 開所時間】

曜日	センター受付	コールセンター
月曜日～金曜日	9時～18時 (19時まで応相談)	9時～20時
土曜日		9時～18時
日曜日		
一部祝日	電話対応の後、折り返し	

(2) 求職登録

求職登録（保育士）は2ヶ所のセンターで受け付けている。登録者の求職の意思や求職条件を可能な限り把握して効

果的な支援・マッチングを行うため、センターにて面談後、求職登録を行うようにしている（面談は基本的に予約制）。現職保育士の転職に関する就職あっせんについては、現勤務先の離職を促すこととなるため、実施しないこととしている（登録は可能）。開設から平成26年9月までの登録者は584人、登録施設は197施設である。

(3) マッチングの実施

マッチングに当たってはコーディネーターが求職者と求人事業者のニーズを十分に理解した上で勤務条件の調整を入念に行う。求職者が就労前に抱いていたイメージと就労後の現実とのギャップを可能な限り解消するべく、保育所との面談前に求職者の施設見学を勧奨している。職場の雰囲気や実際の仕事内容など求人票からはわからない事柄について、求職者自身が確認することで、納得して保育所との面接に臨むことを重視している。求職者が希望する場合はセンター職員が施設見学に同行している。電話と相談による就業後のフォローアップにも取り組み、相談件数は平成26年9月までに10件受け付けた。

【センター面談室】



(4) 就職フェアの実施

「保育所就職フェア」として平成25年度は1回、平成26年度は8月、11月、1月の計3回開催し、8月、11月の実施で累計40施設、199人が参加した。

「就職相談会」では市内の認可保育所20施設以上が個別面談ブースを設け、採用が決定されることもある。センターは「求職者登録ブース」を開設するほか、復職に際しての注意点に関するセミナーを開催している。託児所を完備し（予約制、定員9人）、事前に予約した来場者には保育関連書籍の無償配布を行うなど来場に際しての動機付けにも積極的に取り組んでいる。

(5) 研修の実施

保育セミナーとして現在は保育所に勤務していない保育士有資格者を対象としたもの9種類と保育所中堅職員を対

【保育所就職フェア チラシ】

象としたもの1種類の研修を実施している。参加者は平成26年8月まで134人に上る。保育士有資格者対象のセミナーは、いずれも参加費無料の予約制であり、就業経験の有無は問わない。梅田センターと阿倍野センターを会場とし、開催日程は就職活動が本格化する9月以降に集約している。各講座は概ね毎月一回の頻度で開催するため、約2ヶ月で全講座が受講できるよう配慮されている。

【保育セミナー 講座内容と累計参加者数 平成26年度実施内容】

セミナー名	内 容	開催時間
制度改定・新保育所保育指針	最新の保育事情・子ども子育て新制度・新保育所保育指針・保育現場の現状	10:00～15:00
救急救命・応急処置	心肺蘇生法・AEDの操作法・基本的な応急処置	10:00～15:00
リスクマネジメントと保護者対応	虐待が疑われる場合の対応と報連相・保護者からのクレーム対応	10:00～15:00
保育実技(2日間)	乳児の抱き方、調乳/授乳、おむつ交換、わらべうた、手遊びなど保育現場で求められる実践実技	10:00～17:00
接遇マナー	社会人としての身だしなみ・保育現場に於ける保護者・来客への対応・連絡ノートでの言葉遣い	10:00～12:00
発達障がい	発達障害についての理解を深め、早い段階での「気づき」を目指す・保護者への対応や保育所での連携など	10:00～15:00
こどもと体育	「運動はなぜ幼児に必要か」「遊びと運動」「発育発達をふまえた遊びの実例」など保育者が理解しておくべき基本的な理論と実践	10:00～15:00
履歴書の書き方セミナー	履歴書の基本的な書き方と印象づける工夫	10:00～12:00
マジックパルーンセミナー	子ども達に人気のあるパルーンのセミナー・イベント時の装飾やプレゼントに活躍する	10:00～12:00

保育所中堅職員対象の研修は「保育所の一番の原因となっている「職員間の人間関係」について、最も影響力を持つのが、主任をはじめとする中堅職員」（センター資料より引用）という考えに基づき、中堅職員のマネジメント・リーダー力の育成を通じて保育所の就業定着率の向上を図ることを目的としている。いずれも参加費無料、約3時間の講習であり、第2回「部下の育成指導とリーダーシップ、離職防止のマネジメント」には19人が参加した。

【保育所中堅職員対象研修 アンケートから一部抜粋】

参加者の属性	参加理由	マネジメントで困っていること
理事長 所長 主任 年齢別リーダー クラス担任	・セミナー内容に興味があった ・市の事業で安心だから ・日程・時間が良かった ・保育所から受講を指示された	・次の中堅職員が育っていない ・職員が受け身で自立していない ・職員のモチベーションが低い ・新人職員のスキル不足 ・職員の仲が良すぎる ・能力や働きぶりに応じた評価制度がない

2 センター運営の特徴・工夫点

特筆すべきは年度毎の目標採用者数を設定している点である。平成26年度は250人の採用目標者数に対し、7月時点で登録者165人、就業決定者63人、進捗率25.2%であった。年度初頭から目標数を掲げて運営を実施することで、目標達成に向けた具体的な進捗状況を知ることができる。また、数字による見える化は効果的な取組であるかを判断するひとつの材料となる。採用者数の目標値は大阪市が委託事業者公募の際、市域の保育所における今後の保育士の需給見込みを立てた上で

設定し、目標が未達成であれば委託料が減額され、目標値を大幅に上回ればインセンティブを加算するという条件で委託契約を

【大阪市保育士・保育所支援センター リーフレット】

当センターの役割

保育士の方へ

- 現在保育所に勤務されていない保育士の方からの就職に関するご相談
- 勤務先アップのある保育士の方のための就職支援研修の実施
- 保育士の方の希望に合う大阪市内の保育所の求人情報のご紹介とご面談
- 保育所に勤務することになった保育士の方からのご相談（フォローアップ）
- 就職先保育士と養成施設の学生・卒業生の方に大阪市内の保育所の就職あっせん

保育所の方へ

- 保育所等における保育士求人に関するご相談
- 保育所等への保育士のお勧め
- 保育士など人材の確保に関するお問い合わせ（フォローアップ）

対象：認可保育所、認可こども園、小規模保育事業

大阪市保育士・保育所支援センター
 大阪府大阪市東淀川区東中津 1-1-17 住友ビル 11階 就業支援センター
 受付時間：月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 受付時間：9:00～17:00

梅田センター
 大阪府大阪市北区梅田 1-1-1 住友ビル 11階 就業支援センター
 受付時間：月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 受付時間：9:00～17:00

阿倍野センター
 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野 1-1-1 住友ビル 11階 就業支援センター
 受付時間：月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）
 受付時間：9:00～17:00

お問い合わせてください 専用コールセンター
 フォローアップ
0120-977-655
 受付時間：09:00～20:00 土日祝日：09:00～18:00

株式会社 ニッソーネット 登録番号 27-3-00166
 代表取締役社長 大塚 浩一
<http://ho1substake.jp/>
<http://www.nissonet.co.jp/company/>

交わしている。さらにニッソーネットが人材サービス事業で培ってきた広報力を活用し、予算を効果的に配分するノウハウの蓄積により、実態に即した広報費を設定、社内の経営資源を活用している。センター利用者へのフォローアップとしては来所者を対象としてアンケートを実施、運営改善に関する PDCA の一環としてフィードバックを行っている。

3 センター運営の実績

センター運営による採用者はセンター開設から平成 26 年 8 月末時点で 185 人（平成 25 年度：109 人、平成 26 年度：76 人）である。同時期の求人数：152 件、求職登録者：584 人、紹介者数：248 人を換算すると 75%の採用数である。就職先は主に私立の認可保育所と認定こども園であり、雇用形態別ではフルタイム 137 人、パートタイム 48 人である。

4 センター運営の課題

運営に当たって以下の 3 点が挙げられている。①登録者の地域偏在：保育所所在地による人材供給の偏り、②50 代以上の就業率改善：保育所対象のセンター事業説明会において 50 代以上の採用に向けた前向きな検討を依頼（「50 代以上の保育士が就労している場合は保育所全体の就業定着率が高い」というセンターの分析に基づく）、③実習を有効に使ったマッチング率の向上：保育所での実習者を採用に結びつける手法の開拓である。

【センター利用者の声】（HPより転載）

- ① 販売職に携わっていたのですが、店舗の閉店がきっかけで転職を考えていたところ、保育士の資格を持っていたので周囲の方からも勧められました。ただ、約 17 年のブランクがあったので、長期的に続けられるのか、年齢的に体力や、職場の雰囲気、仕事内容など全般的に不安に感じていました。保育の仕事に戻れたことはすごくよかったと思っています。この担当さんだからこそ復職できたと思っています。毎日、いろんな子どもたちの成長が見られることが楽しいです。潜在保育士の方は、保育のお仕事に携わりたいという気持ちがあれば、一度チャレンジしてみて、自身の目で現場を見てほしいと思います。自分自身に合っている保育所を探すことがすごく大事ななと感じています。
- ② 卒業後、一般企業への道を選んだので、保育士として就職するまでは 5 年空きました。今までは大人相手に仕事をしていたのが、子ども相手の仕事になったので、言葉づかいやうまく通じるのかなということが一番不安でした。また、子どもに対しての危機管理についても不安はありました。ですが、想像していたよりも楽しく働いています。子どもたちは、毎日違って、短時間でも変化がわかります。昨日はできなかったことが、今日ではできるようになったりと、小さい変化が見えることにやりがいを感じます。潜在保育士から復職を目指す方は、私も同じでしたが、未知の世界に入るので、絶対に不安だし躊躇してしまうと思います。一歩踏み出したら、後悔はしない仕事だと思います。

9 堺市保育部保育運営課無料職業紹介所

堺市保育部保育運営課無料職業紹介所（以下無料職業紹介所）は大阪府堺市子ども青少年局の一部署である保育部保育運営課が所管する無料職業紹介所として平成 25 年 10 月 1 日に開設した。「堺市保育士等就職支援コーディネート事業」（以下コーディネート事業）の一環として堺市が直営で運営し、保育士有資格者（市内公立保育所元職員）をコーディネーターとして1人配置している。開所時間は月曜日～金曜日の9時～17時30分、市内の民間認可保育所に就職を希望する保育士、看護師、栄養士、調理員を対象として支援を実施している。

1 無料職業紹介所と潜在保育士対象研修の取組内容

コーディネート事業の主な内容は、求職・求人登録、相談対応（潜在・現職保育士、保育士資格取得希望者、事業所等）、市内民間保育所の求人情報の収集、マッチング等である。「さかい JOB ステーション」¹やハローワークなど無料職業紹介を実施する他機関と連携しながら効率的な運営に努めている。また保育部保育運営課内の別事業として潜在保育士を対象とした研修を実施し、無料職業紹介所の運営を促進している。市の直営の利点を活かし、コンパクトな事業内容で保育士等の安

定的な確保を図り、市内における安全安心な保育の継続を目指している。

(1) 就職相談の実施

求職者対象の相談会は市役所内の保育部保育運営課の一角において、毎週火曜日と木曜日の13時～17時に事前予約制で実施している。相談に訪れた求職者にはコーディネーターが対応し、希望に沿った市内の民間保育所を紹介している。開設から平成 26 年 8 月時点で 102 件の求職件数を受け付けた。求職者対象の就職相談は「さかい JOB ステーション」へ出張相談会として毎月第 2 金曜日の 13 時～17 時に窓口を開設している（事前

【さかいJOBステーションでの出張相談会 広報】

予約制)。労働局への届出場所と異なるため、就職先の紹介と登録については、後日、市役所に来庁することを勧奨している。開設から平成 26 年 8 月までの相談件

¹ 15 歳～39 歳までの若年者と全年齢層の女性を対象とした堺市が設置、運営する就職支援施設。

数は 51 件、求人数は 166 件に上る。

(2) 人材バンクの運営（求職・求人登録）

求職者の登録手続きは以下のとおりである。所定の「求職票」に記入後、窓口に来所し面接を実施した後、「求職票」の内容に基づき、求職者として登録される。求職票は「保育士」と「保育士以外の職種」の 2 種類ある。市役所市政情報センターと区役所区政情報コーナーに設置されており、市のホームページからもダウンロードができる。求人者は「求人票兼労働条件明示書」を募集職種・形態別（保育士・保育士以外の職種、正規職員・臨時職員）に記入する。用紙に記入した後、FAX またはメールにて送信後、登録が完了する流れとなっている。開設以降、平成 26 年 8 月末時点で 53 人の有効

【求職者登録申込書（保育士）】

堺市保育士等就職支援コーディネート事業 求職者登録申込書		求職票 (保育士)	
堺市役所 堺市保育士等就職支援コーディネート事業(無料職業紹介事業)の業務運営に関する規程に基づき、次のとおり、求職者として登録を申し込みます。			
記入日	平成 年 月 日	完全受行番号	年 月 日
本名		性別	男性 女性
生年月日	昭和・平成 年 月 日	歳	
居住地	(〒)		
電話番号	携帯電話番号		
メールアドレス			
現在の勤務先	有 ・ 無 (有の場合は勤務先名)		
勤務経験年数	認可保育所の勤務経験 (通算 年 ヶ月)		
保育士登録の状況	<input type="checkbox"/> 済 (済) <input type="checkbox"/> 未 (未) 保育士登録年月日 年 月 日		
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学卒業(学部等) <input type="checkbox"/> 短期大学卒業(学部等)		
職歴 (兼職内容)	現在から過去の履歴にお書きください。 ① 年 月 から 年 月 まで ② 年 月 から 年 月 まで ③ 年 月 から 年 月 まで		
希望する 求人条件	【希望する勤務地】 全域・堺区・中区・東区・西区・南区・北区・東港区 【希望する勤務形態】 正規職員 ・ 臨時職員 ・ 勤のみタのみでも可 【希望する就業時間】 時 分 ~ 時 分 【希望する休みの曜日】 【希望する給与の曜日】 月・金・水・木・金・土・日 祝日 その他() 【その他の希望】		
その他の資格・免許取得状況	① 取得日 年 月 日 ② 取得日 年 月 日 ③ 取得日 年 月 日		
求職票有効期限	平成 年 月 日		
※堺市は、当求職票により収集した個人情報、履歴紹介の目的にのみ使用します。			
同 意 書			
私は、上記により堺市保育士等就職支援コーディネート事業(無料職業紹介事業)に求職者登録の申込をするにあたって、次の事項に同意します。			
(1) 市内の保育所から求人のための案内に提供された依頼があった場合、本申込書等を保育所に提供すること。			
(2) 申込内容に変更があった場合、速やかに案内に届けること。			
(3) 堺市が半年以上、申し込み連絡がない場合、私の同意なく登録を削除すること。			
(4) 求職者登録を申し込みにより、紹介・就労を約束されるものではないこと。			
(5) 本申込書(堺市保育士等就職支援コーディネート事業(無料職業紹介事業)の業務運営に関する規程)に定める事項に関すること。			
平成 年 月 日	署名(自署)		

求職登録と 11 保育所 28 件の有効求人登録があった。

(3) マッチングの実施

マッチングは、紹介から面接日時の調整、紹介状を発行するまでになる。基本的には窓口に来所し、面談を実施した求職者を対象にしている。コーディネーターは勤務条件や通勤条件の詳細な希望をすべて聞くことを心がけており、通勤経路や希望する保育担当年齢など求人票に記載されない情報は、マッチングにおいて重要な要素となる。見学の勧奨もできる限り行っている。

(4) 広報周知の実施

コーディネート事業と潜在保育士対象の研修について広報周知に取り組んでいる。市の広報誌に加え、地域のフリーペーパー（無料情報誌）に「保育所への就職お手伝いします（無料職業紹介事業）」の見出しで事業内容を掲載するほか、折り込みチラシの求人情報誌に事業内容と共に出張就職相談会の実施を告知するなど、市政が所管する広報の枠に留まらない周知を積極的に行っている。保育士就職・復職支援研修の実施と共に無料で受講できる点を記載するなど、求職者の不安を払拭しながら、参加がしやすい講座の趣旨を記している。また無料職業紹介所の開設に際し直通専用電話を付設し、電話番号は“072 - 228 - 0194 (ほいくしょ)”と指定した。

【求人情報誌(折り込みチラシ)で相談会を告知する】

(5) 潜在保育士対象研修の実施

潜在保育士を対象とした就職・復職研修は平成 25 年度と平成 26 年度に実施した。平成 25 年度は委託事業として 2 回実施し、保育士としてのスキルアップを目的とした遊びの学習とコミュニケーション能力の向上を図る内容であった。なお、参加者中 11 人が平成 25 年度途中(7 人)あるいは平成 26 年 4 月から(4 人)保育士として就業した。保育現場への就職及び復帰する準備段階として、研修は一定の役割があった。平成 26 年度は市直営で 3 回実施し、内容は実践で役立つ知識を重視した。公立保育所の所長経験者を講師に設定し、参加対象者は認可外保育施設に勤務する保育士にも広げ、堺市全体の保育の質の向上を図ることを目的とした。

【潜在保育士対象研修 平成 26 年度実施プログラム】

月日	時間	領域	主な内容	参加者
6 月 16 日 (月)	14:30~ 15:30	保育所保育 指針(健康と 安全) 子育て支援	保育所における地域支援・ 保護者支援 子どもの事故の予防と対策	19人
	15:40~ 17:00	食事と栄養	離乳の進め方に関する最 近の動向 食育のポイント	
7 月 3 日 (木)	14:30~ 16:00	小児保健	健康観察のポイントと応急 手当 SIDS・子どもに多く見られる 症例と対策	19人
	16:10~ 17:00	保育所保育 指針(保育の 計画)	虐待の早期発見と予防 保育の計画	
10 月 27 日 (月)	14:30~ 16:00	気になる子ど もと家庭への かかわり方	乳幼児期の発達 発達が気になる子どもへの かかわり方	16人
	16:10~ 17:00	保育所保育 指針と保育内 容(環境とあ そび)	安心安全な保育環境 あそびの実際	

2 無料職業紹介所の特徴・工夫点

コーディネーターの役割が最大の特徴である。コーディネーター自身の経験に基づいた親身で的確なアドバイスによる相談業務とマッチングは、求職者が抱く育児との両立に対する不安の解消やビジネスマナーとしての言葉遣い、身だしなみなど、潜在保育士が就職・復職に際して必要と思われる事柄に対して丁寧に応じている。事業の利用者アンケートには「とても相談しやすかった」「ひとりで職を探すのは不安もあったのでありがたい」等、親しみやすい雰囲気が高評価を得る一方、「市

役所の仲介なので安心して登録できると思った」と市政への信頼感から無料職業紹介所を利用する声があった。

【来庁者アンケートより 一部引用抜粋】

項目	回答
「保育士等就職支援コーディネート事業」についてどこで知りましたか？	さかい広報 チラシを見て 堺市役所のホームページ 短大の先生より紹介
相談員の対応はどうか？	色々な相談にのってもらえて良かった とても相談しやすかった 丁寧で希望を聞いてくれた 親切に対応いただき嬉しかった
相談されてお役にたてることはありましたか？	保育士さんの意見としてお話ししていただき、学ぶことがたくさんあった 正規の求人が来る時を教えていただいた 早速面接をしていただけた話があり、とてもありがたい 退職後の話、過ごし方も聞いてもらえて、心が落ち着いた 市役所の仲介なので安心して登録できると思った
相談時間は十分にありましたか？	親身になって聞いていただき時間が長くなっても嫌な雰囲気ではなく話しやすかった 勤務場所や勤務時間等聞いていただいた
感想	とても話しやすく、自分の思っている事など伝えることができた 今までの保育の経験を活かせるような職場で子ども達に関わりたい とても親切に話を下さり、ホッとした 楽しい時間をありがとうございました 初めて来所したが明日面接の話をいただき大変感謝している。ひとりで職を探すのは不安もあったのでとてもありがたい 年齢を重ねているのでなかなか見つかりにくいと思っていたが、自分も子育ての経験を活かして調理の仕事に頑張れる望みがもてそうで嬉しかった

3 無料職業紹介所の実績

平成25年度から平成26年9月末における無料職業紹介所の実績は、求人件数：185件、求職件数：103件、紹介件数：39件、就職件数：25件である。紹介を受けた64%が採用された。

求職者の大多数が育児中のため、正規職員よりも臨時職員でのパートタイム労働を望む割合が多い。ハローワークの求人情報は取り扱う雇用形態が正規職員に限定されるため、就職・復職を諦めていた求職者が、センターを利用し、コーディネーターが求人先に根気強く調整を依頼することで、紹介から採用に至ったケースがある。市の元職員が事業に関わることで研修内容の充実やマッチングの精度の向上、保育課との連携が取れている。

【堺市無料職業所実績 平成25年度～平成26年度(9月末)】

年度	求人件数	求職件数	紹介件数	就職件数
平成25年度	122	68	30	20
平成26年度 (4月～9月末)	63	35	9	5
合計	185	103	39	25

4 無料職業紹介所の課題

事業の促進に当たっての課題は広報周知に対する潜在保育士の応答が少ない点である。前述したように市広報誌やフリーペーパー等で呼びかけを行っているが、抜本的な対策が取れておらず、研修等の参加者は想定より少ない。また近隣の関係機関との連携体制も課題である。指定保育士養成施設(市内4校のほか近隣市内)に対し、在校生及び卒業生への事業周知と登録への協力を求め、さらに保育士登録事務を所管する大阪府へも度々協力を要請しているが、いずれも連携体制を築くことが難しい。潜在保育士へ更なるアプローチをする手段が得られておらず、無料職業紹介事業の促進に結びつかない。

10 福岡市保育士・保育所支援センター

福岡市保育士・保育所支援センター（以下センター）は福岡県福岡市子ども未来局子育て支援部保育所指導課に地方公共団体無料職業紹介事業として設置されている。福岡市の直営として平成25年4月1日に開設し、開所時間は月曜日～金曜日の9時～17時30分である。センターの職員は5人（正規職員3・嘱託職員1・臨時職員1）、4人は元公立保育所所長を含む保育士有資格者であり、1人は保育士就職相談員（専任コーディネーター）として配置されている。一般社団法人福岡市保育協会（市内の民間保育所が加盟。以下「保育協会」と連携し、事業運営を進めている。市の直営で実施しているのは、潜在保育士を対象とした様々な支援をするために、状況に応じた方策を採る必要があり、仕様書で業務を依頼する委託業務では難しいとの判断による。

1 センターの取組

センターの主な業務は求職者に対する就職相談、就職あっせん、マッチング、求人者（事業所）への助言指導、現職保育士からの相談対応、保育士就職支援研修会の実施などである。運営母体である保育所指導課は保育協会と協力体制にあり、多様な取組を行っている。一例では保育所指導課が保育士の処遇改善について保育協会に講話等を行い、それに応じた各保育所

が「臨時職員の時給単価を100円増」「男性保育士受入保育所の増加」を実現するなど、保育士の就職・復職、職場環境の改善等に対する抜本的な対策を共同で推進している。

(1) マッチングの実施

マッチングはセンターに来所し、求職票及び求人票を作成した求人求職登録者（保育士）が対象となる。求職者は就職相談を実施する。保育事情に精通

し、豊富な経験を積んだコーディネーターが対応に際して心がけているのが、求職者の意向である。相談は1時間程度を要し、どのような働き方を望んでいるのか（勤務条件、通勤時間、当番勤務の可否・日数、担当クラス、保育所の方針等）を聞き取り、調整を図る。遠方や来所が難しい求職者には電話、メール、郵送で対応する。また、登録に来所したものの就職までの意欲がそれほどない方、ブランクや経験不足等への不安が大きい方に対しては「保育士就職支援研修会」への参加を勧奨し、研修会後は求職への意欲を適時間い合わせる

【保育指導課の一角が面談コーナーとなっている】



など、フォローアップを含めた幅広い支援を行っている。

(2) 求人・求職登録の実施及び工夫

登録に必要な求職票は、市及び保育協会のホームページから印刷することが可能である。さらに平成26年11月から市内の区役所6ヶ所において各区子育て支援課と連携の下、センターを臨時開設しており、福岡市保育士会のイベントでもセンターのブースを土曜日に臨時開設する等、市内全域におけるセンターの周知及び登録勧奨に努めている。求職登録総数は544人、求人数は110保育所から323人に上る（平成26年10月20日時点）。

(3) 相談業務（問い合わせ対応）の実施

問い合わせを含む相談業務は電話（匿名でも可）と来庁により対応している。求人情報に関する内容、保育士登録（保育資格から保育士資格への新規登録、書換え等の登録変更）の要件、現職保育士から職場環境に関する相談等である。相談内容は、職場の雰囲気や厳しい雇用環境（残業していることを所長が知らないなど）であり、相談業務だけで解決することが難しいケースがある。4人の職員が持ち回りで電話相談と来庁者に対応し、労働条件に関する相談等、専門的な知識が求められる場合は、必要に応じて労働局を紹介している。

【相談業務（問い合わせ）状況】

（単位：件）

年度	求職関係		その他(登録・就職についての相談)		合計
平成25年度	1,524		146		1,670
	電話	来所	電話	来所	
	950	574	110	36	
平成26年度 (~10/20)	637		68		705
	電話	来所	電話	来所	
	454	183	40	28	
合計	1,404	757	150	64	2,375

(4) 保育士就職支援研修会の実施

保育士就職支援研修会は平成23年度から保育協会との連携の下、こども未来局子育て支援部保育所指導課が開催している。対象は現職を含む保育士有資格者、登録申請中の方、養成施設卒業予定者である。研修の内容は保育所保育指針と保育行政などの保育概要、連絡帳の記入方法などの実務、保育所所長を交えたフォーラムなど多様なメニューである。センターに寄せられた求職者からの相談内容を紹介し共有することで、参加者の不安や疑問を解消する機会にもなっている。会場には求人票を掲示しているほか、①「求職票の登録・紹介」②「見学受付」③「就職相談」の各ブースを設けている。②「見学受付」は希望者に「見学証」を渡し、指定期間に希望の保育所を2ヶ所訪問し、保育現場の雰囲気を知るという目的から実施している。③「就職相談」は保育所所長と保育所指導課の職員が相談に応じる。9回の開催を通じた参

加者は488人（一般：413人、学生：75人）、そのうち保育士として就職したのは155人、一般参加者のうち38%の割合である。

【保育士就職支援研修会参加者数(平成23～26年度)】

(「保育士としての就職」は一般参加者数内での割合)

年度	月日	時間	申込者	参加者数 (一般/学生)	見学	実習	センター登録済み	新規登録	保育士として就職
平成23年度	1月18日(水)	10:00～15:00	76	64(64/0)	21	3			17(27%)
平成24年度	7月4日(水)	10:00～15:30	71	60(60/0)	23	6			21(35%)
	11月16日(金)		64	52(52/0)	24	1			18(35%)
平成25年度	7月3日(水)	10:00～15:30	122	99(78/21)	26	5	0	33	25(32%)
	11月14日(木)		73	54(34/20)	27	0	7	11	12(35%)
	1月19日(日)	13:00～16:30	89	62(58/4)	28	0	20	29	34(59%)
平成26年度	5月28日(水)	13:00～16:30	55	51(36/15)	14	0	7	12	14(39%)
	8月31日(日)		40	32(20/12)	18	0	6	8	9(45%)
	10月26日(日)		17	14(11/3)	13	0	3	4	5(45%)
	1月18日(日)		実施予定						
合計			607	488(413/75)	194	15	43	97	155(38%)

(5) 保育所見学・実習の実施

保育所見学は、保育士就職支援研修会の中で、希望者を募る形式で実施され、受入が可能な認可保育所から、希望者が2ヶ所まで選択し、日程を調整する。9回の実施で延べ194人が参加した。「保育士資格を取得したばかりで登録申請中

だが、2ヶ所行き、とても勉強になった。今回も見学を希望する予定」(研修会アンケートより引用)など、養成施設を経ずに保育士資格を取得した求職者が初めて保育現場を訪問する貴重な機会となっている。また実習については、希望があれば公立保育所で実施する体制をとっている。

2 センター運営の特徴・工夫点

センター運営の特徴は求職者と求人者との細やかなニーズ調整である。保育士経験者である職員が求職者の希望に応じ、求人保育所に確認をしながらあっせんを行う。一例として、コーディネーターが福岡市内の保育所分布図を作成したものを使用して求職者の通勤圏内を測り、希望条件に合った保育所を探すなど実情に応じた取組を進めている。保育協会との連携も大きな特徴である。必要に応じて保育協会に協力を要請し、求人票の記入法、賃金の設定等について改善案を提案している。ハローワーク、指定保育士養成施設(教員あるいは就職支援担当者)、福祉人材確保推進協議会(福祉施設の担当者)とはセンター業務の周知依頼(チラシ掲示・配布)、情報交換を行っている。

【職員手書きの保育所分布マップ 地域ごとに色分けされている】



3 センター運営の実績

センター運営による保育士採用者数は開設から平成26年10月20日現在で318人（平成25年度：246人、平成26年度途中：72人）である。同時期の求職者数544人、紹介数453件を換算すると70%の採用割合である。センターの方針としては求人者と求職者が無理をせず互いのニーズを一致させる方向を目指している。そのほかの成果としては、求人側の意識の改善（求人票における就業条件の明示、遵守）や前述した保育士の処遇改善（臨時職員の時給単価100円増、男性保育士の受入保育所の増加）がある。これらはいずれも保育指導課が、保育所の所長と共に保育士養成施設を訪問し、調査した結果を取りまとめ、保育協会に改善案を提示した内容に基づいている。時に応じて市内の監査指導課の協力も得ながら地道に保育現場の声を集め、実績を上げている。

【平成25年度/平成26年度（～10月20日）の紹介・採用数】（単位：人）

年度	求職登録者数	紹介数	採用数
平成25年度	415	346	246(71%)
平成26年度	129	107	72(67%)
合計	544	453	318(70%)

4 センター運営の課題

課題としてはセンターの支援対象である潜在保育士の掘り起こしが挙げられる。市内に10校ある養成施設に依頼し、卒

業生に向け、就職支援研修会への参加やセンターの利用を呼びかけている。次に保育士の処遇に関連した保育所の採用状況の改善（正規職員での採用、男性職員の受入、労働環境の整備）である。センターのみならず、保育所指導課と保育協会が連携し、保育現場の実情に沿って取り組む必要がある。

【保育士就職支援研修会「参加者アンケート」】（一部引用文言修正）

- ① 前回に参加した時と同様、大変参考になった。現在、保育士資格を取得したばかりで登録申請中だが、前回に参加した見学が勉強になったので今回も希望する予定だ。
- ② 求人票が多く出ており、研修内容も楽しくわかりやすい会だった。求職に関する不安が楽になった。
- ③ 不安材料が少なくなった。仲介していただけるのが心強く、前向きに就活したい。
- ④ 不安な気持ちで来たが、研修中、何度も「やってみて下さい」と言われて、少し自信が出た。
- ⑤ ブランクがあり、どういう内容か知りたくて参加した。
- ⑥ 現場の先生方と話す機会をいただけて、大変ありがたかった。不安なことが多い中嬉しかった。
- ⑦ とても有意義な時間だった。やはり保育士として働きたいと改めて思った。
- ⑧ 細かい内容で大変役立った。連絡帳の書き方は改めて勉強になった。
- ⑨ 保育士資格を持っていても現場経験にブランクのある方が多く、支援が素晴らしいと思った。
- ⑩ 連絡帳の記入など実際の保育に役立つ情報をありがとうございます。
- ⑪ 託児があったので、参加できた。仕事を先に決めるか、保育所を先に決めるか難しい。

1 1 久留米市保育士・保育所支援センター

久留米市保育士・保育所支援センター（以下センター）は平成 25 年 4 月 1 日に開設し、無料職業紹介所としての業務は平成 26 年 7 月 15 日に開始した。久留米市子ども未来部児童保育課（以下保育課）内に設置し、市の直営として運営している。月曜日～金曜日の 8 時 30 分～17 時 15 分を開所時間とし、センターの職員は 1 人である。

1 センターの取組内容

センターの業務内容は求職相談、就職のあっせん、現職保育士や保育士資格取得希望者からの相談対応、求人に関する保育所からの相談対応、市内認可保育所の求人情報提供である。平成 26 年 11 月に保育士就職支援セミナーを実施した。

(1) 広報活動

久留米市内の認可保育所における求人・求職情報を取り扱うに当たり、市内の広報周知に注力している。センター開設時期に集中して取り組み、市広報誌への掲載のほか、保育士養成施設へ訪問し周知活動を依頼した。

- ① 「広報くるめ」掲載 平成 25 年 5 月 15 日号、平成 26 年 7 月 15 日号

- ② 「西日本新聞」掲載 平成 25 年 7 月 15 日

- ③ 保育士養成施設訪問 平成 25 年 5 月 24 日・28 日、6 月 11 日

センター開設時と無料職業紹介事業の開始に伴う周知に加え、③は市内の養成施設 2 校（信愛女学院短期大学・久留米大学）と市外 3 校に訪問し、センターに関する広報周知を行った。

(2) 求職・求人登録

センター利用に際しての求職・求人登録（保育士）は求職票と求人票の提出を必要とする。センターの窓口に設置しているが、ホームページからダウンロードし、記入の上、FAX、郵送等での申込みも可能である。求人登録は 19 の事業所が 54 人の求人を募集している（平成 26 年 12 月時点）。内訳は正規職員 3 人、非正規職員 51 人であり、ホームページ上で求人情報の詳細を公表している。非正規職員は、常勤 32 人、非常勤 19 人と雇用形態が細分化しており、契約期間や勤務時間、福利厚生などの条件を比較することができる。求人票の提出は事業所から FAX による紙媒体での提出を主とし、誤記のないように努めている。

(3) 保育士就職支援セミナーの実施

保育士就職支援セミナーは平成26年11月30日に開催した。対象は保育士有資格者、保育士資格取得予定者（登録申請中、養成施設卒業予定者）であり、セミナー内容は保育所の現状等の講話、公立保育所に勤務2年目の現役保育士による経験談があった。講師は児童保育課職員、民間保育所所長が担当した。セミナーでは保育所の見学に関する申込みも受け付けており、市内の認可保育所の見学申込を2ヶ所まで申請することができる。なお、セミナーの後半ではセンターの事業内容を説明し、求職登録を募る時間を設けており、セミナー参加者をセンターの利用者として確保するための運営上の工夫がなされている。事前申込による託児が実施され、3人の参加者（4人の児童）が利用した。

【保育士就職支援セミナープログラム 平成26年11月30日(日)開催】

時間	内容	参加人数
13:00～13:40	現在の保育事情と今後の動向	9人
13:40～14:10	保育現場の今(保育所の仕事内容)	
14:20～14:50	保育所に就職して(保育士経験談)	
14:50～15:00	保育所見学受付	
15:00～15:30	保育士・保育所支援センター紹介、求人紹介・求職登録・就職相談・就職あっせん	

2 センター運営の特徴・工夫点

センターを運営する保育課が担当する研修はセンター業務を補完する保育士対象の講座研修である。市内公立・私立の保育所所長と主任、児童保育課で構成している久留米市保育所連盟研修推進委員会が企画、実施している講座研修は基本研修、専門研修、課題研修をテーマ別に開催し、30年以上にわたり継続開催している。保育課職員が講師を務めた保育リーダー対

【(参考)職員間のチームワークと保護者支援 (講師 子ども未来部保育課職員)平成26年9月実施内容 一部抜粋】

主任保育士の業務	人間関係の構築に関わる業務	臨時職員との関係
		年上の保育士への声かけ・アドバイス
	若い保育士への指導と関係づくり	
保育・保育士に直接関わる業務	事務	ゆとり世代 ほめられて育つ保育計画にそった保育の実施
		連絡・相談・報告 マニュアル作成 保育の一貫性や継続性を根拠を含め伝える
研修	研修内容	記録の簡素化(久留米市保育要領)
		自己評価の書き方
めざす保育士像	保育	主任保育士としての資質向上 積極性
		一人ひとりの乳幼児と保護者の気持ちを受けとめ、発達を配慮した保育
		保育所職員のチームワーク
		苦情

象の研修では、「職員間のチームワークと保護者支援」と題し、主任保育士の業務と職員間の人間関係や苦情対応を含む保護者支援について講話した。離職や休職による潜在保育士の増加に伴い、保育所の運営に支障を来している状況下において、処遇改善とは異なるアプローチで職場環境の改善を推進する研修を行っている。センター事業には含まれていない研修運営だが、市と保育団体の協力関係が円滑に進む一助になっている。今後はセンター事業との連携を進め、更なるセンター利用の勧奨により、登録数の増加が見込まれる。

3 センター運営の実績

センター運営の実績として、ホームページに記載してある求人情報を利用し、求職者が直接保育所に応募して採用されたのが3人である。この時点では求職者登録制（職業紹介事業）を開始しておらず、開始後はセンターのあっせんにより、1人が採用されている。また相談件数の成果は表のとおりである。

【問い合わせ状況】 平成26年12月12日時点

相談・問い合わせ元	件数
求職者	91
求人者(保育園)	7
現役保育士	3
その他(指定養成施設等)	12
計	113

4 センター運営の課題

センターの運営に際しての課題は、広報の実施が限定的になり、センターの周知が徹底されていない点である。市役所ホームページの「保育所求人情報」のアクセス件数は増加しているが、求職・求人登録の増加に至っていないのが実情である。就職・復職に関心を持っている保育士有資格者を就業に結びつけるために、保育士就職支援セミナーの継続的な実施や他機関との連携が必要である。

Ⅲ アフターサービス推進室 過去の活動報告

アフターサービス推進室では、厚生労働省の制度や事業が本来の目的どおり国民の生活に役立つものとなるよう、当該制度や事業を調査・分析し、現状把握の結果に基づき、改善に結び付ける取組を推進しています。

これまでのアフターサービス推進室活動報告書のリンク先は、以下のとおりです。

[Vol. 16 : 『健康づくりにかかる調査』 \(平成 26 年 8 月 1 日\)](#)

[Vol. 15 : 『訪問看護ステーションの事業運営に関する調査』 \(平成 26 年 6 月 30 日\)](#)

[Vol. 14 : 『家庭的保育に関する調査』 \(平成 26 年 3 月 31 日\)](#)

[Vol. 13 : 『シルバー人材センター—高年齢者の就業機会の確保に向けた調査』 \(平成 25 年 12 月 26 日\)](#)

[Vol. 12 : 『日本年金機構年金事務所 フロントサービス改善のフォローアップ調査』 \(平成 25 年 9 月 30 日\)](#)

[Vol. 11 : 『職業訓練事例調査—就職率向上支援の推進に向けた調査』 \(平成 25 年 4 月 30 日\)](#)

[『第三者行為による健康保険等の利用状況調査』 \(平成 25 年 4 月 30 日\)](#)

[Vol. 10 : 『お薬手帳の電子化にかかる調査』 \(平成 25 年 1 月 11 日\)](#)

[Vol. 9 : 『子どもを守る地域ネットワーク \(「要保護児童対策地域協議会」\)
の強化の推進に向けた調査・提案』 \(平成 24 年 12 月 21 日\)](#)

[Vol. 8 : 『厚生労働省での東日本大震災に対する対応について』 \(平成 24 年 8 月 3 日\)](#)

[Vol. 7 : 『HIV/エイズ予防・支援活動を担っている NGO の実態調査』 \(平成 24 年 7 月 9 日\)](#)

[Vol. 6 : 『健康診査・保健指導による生活習慣病予防対策—先進事例についての調査』 \(平成 24 年 4 月 13 日\)](#)

[Vol. 5 : 『仕事、住まい、生活に関するきめ細かな相談支援を実施するために
「本人記録用 SOS 窓口一覧」活用の提案-』 \(平成 24 年 1 月 26 日\)](#)

[Vol. 4 : 『労働基準行政等の実態調査』 『年金等支払いサービスの向上支援』 \(平成 23 年 9 月 30 日\)](#)

[Vol. 3 : 『年金フロントサービス改善支援』 『「退所児童等アフターケア事業」の推進支援』 \(平成 23 年 7 月 11 日\)](#)

[Vol. 2 : 『女性医師等の復職支援方法に関する調査』 『障害者雇用対策のホームページ改善』 \(平成 23 年 3 月 31 日\)](#)

[Vol. 1 : 『アフターサービス推進室の活動報告』 \(平成 22 年 12 月 24 日\)](#)

